

(1) 単位互換事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

単位互換制度はこれまで25年にわたり加盟校が形成してきた京都ワンキャンパスの中核的な取組である。学生は加盟校が提供する400科目以上から、自身の関心・意欲にあわせて受講でき、大学の枠を超えた多様性のある「学び合い」ができる制度である。国内でもこの規模で運営される単位互換は京都以外になく、京都ならではの高い教育力ある環境の維持・発展は財団の使命である。近年、教育の質保証が求められる中、加盟校ではカリキュラムの充実が図られる一方、他大学の科目履修が時間的、制度的に難しい状況となり受講者数は減少している。このため、国において単位互換を促進する形で大学設置基準の解釈を見直しされたことを背景に、以下のように改革を進める。

1. 大学設置基準の見直しに伴う事業の改善

- (1) 見直された運用方針に伴う協定校における今後の単位互換制度実施に向けた周知・助言
- (2) 協定校における学内規程及び関連ポリシー等の整備・点検の要請

2. 「京都世界遺産 PBL 科目」への加盟校・学生の参加の促進

- (1) 京都世界遺産 PBL 科目の安定運営に資する受講者確保に向けた広報強化
- (2) 協定校及び世界遺産所有者の積極的な参画の促進と更なる提供科目の拡充

3. 京都ならではの新たな学び合いのフィールドを拡充

- (1) 新たな PBL 科目開設に向けた協定校への応募要請及び学生広報
- (2) 各文化施設及び開設希望大学の要望に沿ったマッチングの実現
- (3) 質保証を担保した既存のフレームによる単位互換制度の安定運営

4. グローバル科目の開設及び求められる e-ラーニングの仕組みづくり

- (1) 大学の国際化に即したグローバル科目開設に向けた検討
- (2) 新たな IT 技術やデジタルコンテンツを活用した e-ラーニングの仕組みづくりの検討

5. 教職等資格取得に必要な科目の履修を支援する単位互換科目充実の検討

- (1) 日曜講座開設による京都全体の教職課程の充実
- (2) 教職科目以外の資格取得に必要な科目の提供に向けた調査・分析

<実績>

1. 2019 年度単位互換科目への出願状況他について

(1) 単位互換科目への出願状況

2019 年度前期の単位互換事業には、加盟校から 415 科目（前年度 427 科目）の提供があった。前期出願(3月22日～4月12日)の出願者数は延べ1,200名（2018年度1,762名）で、昨年度より562名減少した。特に、立命館大学 - 433、龍谷大学 - 50、京都女子大学 - 31、京都文教大学 - 31あたりが主な減。なお増加したのは大谷大学+10、京都産業大学+7、京都先端科学大学+7であった。また、後期の科目提供数は136科目であり、後期出願(9月6日～9月20日)の出願者数は、205名（前年度222名）となっており、前期の出願者数と同様に減少する結果となったが前期に比べ微減に留まった。減数要因は、京都西山短期大学の「子どもの発達とヨーガ遊び」や佛教大学の「京を守る 命を守る」といった人気講義の閉講や e-ラーニング科目の完全終了という要因は考えられるが、全体としては引き続き各大学におけるカリキュラムポリシーに基づく科目の充実や単位互換履修の条件設定等の影響、履修登録期間の厳格化、近年に見られた新学部学科認可審査における包括的な単位互換科目への指導の影響に

よる受講可能な学生数の母数減少があるとみられる。今後は2019年8月に文部科学省より発出された「単位互換制度の運用に係る基本的な考え方について」により、単位互換制度による〈自ら開設〉の問題も整理されたことから、協定校に対しても適切な運用に基づく単位互換の更なる利用を促進していく必要がある。

◇2019年度単位互換提供科目数・出願者数・受入者数・送出者数 カッコは昨年度数

協定大学数	提供大学数		提供科目数	出願者数	前年度比 出願増減	送出・受入 者数	前年度比 送受増減
35 大学・10 短期大 学合計 45 校※	31 大・5 短 計 36 (32 大・8 短 計 40)	前 期	415 (427)	1,200 (1,762)	-562 (-522)	1,070 (1,633)	-563 (-505)
		後 期	136※注 (138)	205 (222)	-17 (-43)	201 (209)	-8 (-53)
		合 計	415 (427)	1,405 (1,984)	-579 (-565)	1,271 (1,842)	-571 (-558)

※短期大学部を併設しているところは其々を別カウントした。

※注 後期科目数については前期で科目数を確定し後期は其中で再募集をする。

(2) 提供科目数について

2019年度前期単位互換提供科目数は、昨年度に比べ微減となった。主な要因として2015年度に定められた「単位互換科目提供ガイドライン」に則り「学則に定める科目であること」などの提供方針による各大学での精選が引続き実施されていることや、近年の受講者数の減少に伴い科目提供の見合わせが行われていることなどが考えられる。なお、2019年度の後期募集科目については136科目で昨年度と比べ微減ではあるが、ほぼ同数であり一昨年より増加した昨年度と同様に前期での出願者数減による再募集が積極的に行われているものと考えられる。また、これらの科目提供を受け2019年度単位互換後期履修登録については、2019年9月6日(金)～9月20日(金)正午までの期間を最長とし、各大学により定められた期間にて実施された。

(3) 単位互換講義の実施上の特記事項

- ・特になし

2. 2019年度京都世界遺産PBL科目の出願・実施状況

(1) 2019年度世界遺産PBLの科目設置と受講者数

2015年度に6大学・6世界遺産による7科目からスタートした「京都世界遺産PBL科目」については5年目となる2019年度は2018年度と同じ大学・世界遺産所有者によって8科目の提供が決定し、受講登録者は87名(前年度103名)となった。単位互換全体が大幅に減少する中で京都世界遺産PBL科目も若干の減少に転じた。しかし、単位互換生がいない科目について、今年度は無く単位互換生はほぼ同数となった。京都世界遺産PBL科目を履修登録した単位互換生について、今期初で京都工芸繊維と京都造形が加わった。一方、大谷、京都先端科学、京都光華女子、京都橘、同志社は今期の単位互換生は無し、また、京都産業、京都女子、同志社女子、立命館の学生は5年連続で登録があった。

◇2019年度世界遺産PBL科目（8科目）と履修登録者数

受入先世界遺産	開設大学	科目名	担当教員	受講数、 ()内単 互生、 下段定員	2018年度
上賀茂神社	京都産業大学	京都の世界遺産PBL～上賀茂神社の魅力を学生の視点で発信する～	吉野 秋二	6 (3) 20	3 (2) 20
醍醐寺	京都橘大学	遺産情報演習 I ～世界遺産醍醐寺プロジェクト活動をパブリック化する試み～	小林 裕子	9 (1) 20	16 (0) 20
清水寺	立命館大学	特殊講義 I 「清水寺の△△の○○（良い点）を磨け！もしくは□□（困っている点）を救え！」	宗本 晋作	12 (6) 20	14 (3) 20
醍醐寺	龍谷大学	コミュニティマネジメント特論：世界遺産と学ぶ課題発見・解決過程	笠井 賢紀	2 (1) 20	8 (4) 20
延暦寺	京都文教大学	「お山」の魅力を探る・伝える	手嶋 英貴	11 (3) 15	4 (3) 20
二条城	同志社大学	世界遺産PBL講座～価値主導型に基づく文化遺産マーケティング	多田 実	18 (5) 30	24 (4) 30
仁和寺	立命館大学	政策科学特別実習1「京都の世界遺産 仁和寺」	桜井 政成	7 (1) 25	9 (1) 25
清水寺	立命館大学	特殊講義（教養E）I「京都の文化遺産とその保護～清水地域の防災への取り組み」	大窪 健之	22 (2) 30	25 (8) 30
計				87 (22) 180	103 (25) 180

※龍谷大学について他学部受講の自大学生を単位互換生としているが今年度は該当なし。

◇大学別出願状況（単位互換生の所属大学）

受入先世界遺産	開設大学	科目開設大学	所属大学								合計 8大学	
			工芸 繊維	京都 造形	京都 産業	京都 女子	同志 社女	佛教 大学	立命 館	龍谷		
上賀茂神社	京都産業大学	3		1						2		6
醍醐寺	京都橘大学	8								1		9
清水寺	立命館大学(宗本)	6				1	1	1			3	12
醍醐寺	龍谷大学	1								1		2
延暦寺	京都文教大学	8	1		1					1		11
二条城	同志社大学	13								5		18
仁和寺	立命館大学	6				1						7
清水寺	立命館大学(大窪)	20				1					1	22
合計		65	1	1	1	3	1	1		10	4	87

(2) 2019年度世界遺産PBL科目の実施状況、全体講義、成果発表等について

1) 履修状況

特段の問題等はなし

2) 全体講義、成果発表会の実施について

①5/12(日)京都世界遺産PBL科目全体講義を実施。基調講演の他昨年に引き続き過年度科目修了生による学生講話を行い、全体の情報交換会・交流会についても例年同様に実施した。

- ・基調講演:題目『文化庁の移転～世界遺産「古都京都の文化財」の地に～』

本田 一泰 氏 (文化庁地域文化創生本部事務局 上席調査役)

- ・学生講話: 統一テーマ「これから京都世界遺産PBL科目を受講する皆さんへ」2名

田中海成(たなか かいせい)醍醐寺×京都橘大学小林クラス 京都橘大学 文学研究科修士課程2回生

川口未来(かわぐち みく)仁和寺×立命館大学桜井クラス 立命館大学 文学部 人間研究学域 3回生

②12/15(日)京都世界遺産PBL科目成果発表会を実施。各クラスの学生が授業を通じて取り組んだ成果についてプレゼンテーションにて、世界遺産所有者や関係者に対して発表を行い、教員からのコメントや学生相互の意見交換などをもとに、これまでの学修に対する振り返りを行った。

- ・発表概要:1科目あたり15分

①授業趣旨の説明 1分 (担当教員)

②学生発表時間 10分 <残時間通知方法>残り3分:パネル掲示、残り1分:鐘1回、終了:鐘2回

③講評等 4分 世界遺産所有者、担当教員によるコメント

また、成果発表会終了後に全体の情報交換会・交流会が開催され、世界遺産所有者・各担当教員とともに各クラス間の学生による交流が行われた。学生達はそれぞれの学修成果や経験を共有し親睦を図るなど有意義な交流会となった。

3) 各種トレーニングの実施

5/19(日)京都世界遺産PBL科目インタビュートレーニングを実施。受講特典として、科目開設当初より開催。

10/20(日) 京都世界遺産PBL科目プレゼンテーショントレーニングを実施。12/15(日)開催予定の成果発表会に向けた受講特典としてインタビュートレーニングとともに科目開設当初より開催。

外部講師:株式会社森ゼミ 森吉弘講師 (元NHKアナウンサー)

各トレーニングについては、参加希望のあった4クラス合同で実施(吉野・小林・手嶋・大窪クラス)

4) 広報活動

①5/12 全体講義について京都大学記者クラブと京都市政記者クラブへリリースを行った。

(3) 2020年度に向けた展開について

1) 2020年度閉講予定科目

京都世界遺産PBL科目について、以下のクラスより開講中断申請書の提出があり、2020年度については2クラスが閉講予定となった。

- ・醍醐寺×龍谷大学 笠井クラス
- ・仁和寺×立命館大学 桜井・山田クラス

2) 新規科目開設大学の募集活動

京都光華女子大学より以下の科目について京都世界遺産PBL科目への新規科目開設申請書の提出があ

った。申請に伴い仁和寺へ協力依頼を行ったところ内諾を得ることができた。

さらに、教育事業検討委員会委員による事前審査においても了承され、その後シラバス作成なども行われ、2020年度からの開講に向け具体的な授業計画の作成などが完了した。

・仁和寺×京都光華女子大学 産官学連携科目（京都世界遺産 PBL）通年 2 単位

キャリア形成学部 佐滝 剛弘(よしひろ)教授、久世 奈欧 講師

なお、2020年度の京都世界遺産 PBL 科目については6社寺6大学7科目で開設される予定である。

3. 京都ならではの新たな学び合いのフィールドを拡充

京都世界遺産 PBL と両輪となる京都ならではの新たな PBL 科目（2020年度開講）を実施する。昨年7月より①京都鉄道博物館（JR 西日本）、②京都水族館（オリックス）、③京都市動物園、④京都国際マンガミュージアム、⑤京都市美術館に受入の可能性について打診・訪問（京都市同行含む）し、各文化施設より内諾を得た。この結果を受け4月19日（金）を期限とし書面による正式な協力依頼を行ったところ、①③④⑤からは協力を行う旨回答があったが②については期限までに回答が得られなかったため、結果として協力は得られなかった。また、6月25日（火）に開催された第1回教育事業企画検討委員会において、科目概要および今後の科目開設大学の募集方法等が了承された。その内容にもとづき、7月12日（金）開催の事務担当者会議にて協定校へ科目開設の公募を開始した。なお、7月～8月を科目開設に向けた個別の相談期間とし、9月28日（金）を申請締切日に設定したが申込み状況を考慮し11月中旬まで期間の延長を行った。その結果、立命館大学（京都鉄道博物館）、京都精華大学（京都国際マンガミュージアム）、同志社大学（京都市動物園）、大谷大学（京都市京セラ美術館）の4大学からそれぞれ異なる文化施設への開設希望があり教育事業部としてコーディネートを行いながら、12月～翌年1月中の完了を目途に2020年度からの開講に向けた各文化施設とのマッチングを開始した。なお、各文化施設と開講大学による全てのマッチング作業が当初の予定通り1月中に完了し、希望通りの組み合わせによる4大学×4施設にて2020年度から4科目開講されることで合意に至った。現状としては、教育事業企画検討委員会において、2020年度プラザ推奨科目とすることが承認されたうえで、3月上旬のシラバスの開示に向け、担当教員と各施設担当者により細かなスケジュールの調整などが行われシラバスの作成についても完了した。あわせて、次年度より新規開講される京都光華女子大学（仁和寺）による京都世界遺産 PBL 科目についても担当者間の調整を行ったうえでシラバスの作成を完了した。

4. グローバル科目の開設および求められる e ラーニングの仕組みづくり

（1）新たな e ラーニングの構築方針について

e 京都ラーニングの開発・保守管理を行っている（株）三谷商事と新たな e ラーニングの構築を踏まえ、クラウドなど新たな技術の活用や PBL 授業の支援に活用することのできる e ラーニングの機能などを備えた新たな教育支援システムの開発などについて意見交換を行っている。これまでの検討内容を踏まえ、6月25日（火）に開催された第1回教育事業企画検討委員会では①PBL 科目などアクティブラーニングに活用できる新たなシステムの開発・活用 ②加盟校より需要のある科目群（科目パッケージ）を外コンテンツ等の利用により継続的に提供することを今後の検討の柱として進めていくことが確認された。

5. 教職等資格取得に必要な科目の履修を支援する単位互換科目充実の検討

（1）日曜講座開設による京都全体の教職課程の充実

これまで、京都教育大学によりオンキャンパス科目として開講されてきた教職科目の一部を2020年度からはキャンパスプラザ京都における「教職日曜講座」として提供が予定されている。このことに関し、7月12日(金)および11月15日(金)開催の事務担当者会議において、京都教育大学より日曜日に集中講義形式で「プラザ科目」として、2020年度と2021年度に合計10科目(18単位)を開講する旨、科目名を提示のうえ周知がなされた。また、2022年度以降は2020年度の受講者数等を勘案し、今後検討していくとの説明があった。その後、京都教育大学により単位互換提供科目のシラバス作成が行われ2020年度についてはプラザ科目による「教職日曜講座」として4科目8単位で開講されることが決定した。

【実施スケジュール（主要事項）】

3月22日～4月12日	単位互換科目出願期間
4月19日(金)	単位互換全履修可否通知メール自動配信
5月12日(日)	京都世界遺産PBL科目 全体講義
5月19日(日)	京都世界遺産PBL科目インタビュートレーニング講座
6月25日(火)	第1回教育事業企画検討委員会
7月12日(金)	第1回単位互換・京カレッジ事務局担当者会議
7月28日～8月3日	単位互換・京カレッジ科目の前期試験・レポート提出期間(基本)
8月4日～9月20日	夏期集中科目開講
9月6日～9月20日	単位互換後期出願期間(この期間内で各大学で期間設定)
9月21日(土)	後期科目開講開始
9月21日～9月26日	科目提供大学履修可否入力期間
9月27日(金)	単位互換後期 履修可否発表(am5:00～)
9月28日(土)	2019年度プラザ推奨科目の2020年度「新規・更新」「継続」申請締切
10月19日(土)	2018年度プラザ推奨科目の継続不可申請書提出の締切
10月20日(日)	京都世界遺産PBL科目プレゼンテーショントレーニング講座
11月6日(水)	第2回教育事業企画検討委員会
11月15日(金)	第2回単位互換・京カレッジ事務局担当者会議
12月15日(日)	「京都世界遺産PBL科目」全体成果発表会、科目担当教員調整会議
12月1日～1月20日	2020年度単位互換・京カレッジシラバス入力期間(約420科目)
12月24日～1月4日	冬期講義停止期間
1月21日～1月22日	各大学からの科目へ付番、e京都ラーニングシステム改編、科目確定
1月11日～2月15日	単位互換学生への後期・通年科目対象アンケート
1月22日～1月28日	レポート提出・試験期間
2月3日(月)	一斉停電によるe京都ラーニングシステム使用不可
2月10日(月)	科目提供大学から学生所属大学への成績通知締切
2月14日(金)	シラバス校正・修正期限、キャンパスプラザ教室確保
2月25日～3月4日	e京都ラーニングメンテナンス期間(システム使用停止)
3月上旬	京都世界遺産PBLチラシ、京都ミュージアムPBLチラシ、単位互換リ

	ーフレット、京都学講座学生向チラシの各大学配信
3月6日(金)	2019年度開講 単位互換科目 HP 公表
3月19日～4月10日	学生の単位互換科目履修登録(この中で各大学設定の期間で実施)

(2) 生涯学習事業(京カレッジ)

【事業計画の概要および実績】

<概要>

第4ステージでは、京カレッジにおいて、「大学講義」、「市民教養講座」、「京都力養成コース」、「教養力養成コース」の4分野で270科目以上を開講し、出願者は延べ1,600名規模となり、特にシニア層で利用増となっている。加盟校の生涯学習プログラムを紹介する大学リレー講座によって、市民を加盟校プログラムの受講に繋ぐなどを含めて、シニア層の学ぶ意欲に応える加盟校の教育環境の充実を促進してきた。第5ステージでは、職業人や社会人の継続的な学び＝「リカレント教育」の環境充実が大学に求められている。近い将来において、加盟校がその特徴を活かした形で、社会人の生涯を通じての「学びの継続」に応える大学に変わること目標に、以下のように新たな取組みを展開する。

1. 加盟校等におけるリカレント教育の実践促進

(1)加盟校が実施するリカレント教育の先行事例調査を行う

(2)加盟校プログラムの市民紹介企画を計画する

2. 社会人、シニア層を対象とした新たな大学プログラムの開発に資する事業の実施

(1)社会人対象リカレント教育の実験的プログラムを検討する

3. リカレント教育など、今後の生涯学習事業の展開を研究する委員会の設置

(1)リカレント教育を中心に研究を推進する委員会を設立する

4. 京カレッジ、京都学講座、大学リレー講座の充実

(1) 大学連携による京都学講座、大学リレー講座の実施促進

(2) 京カレッジでの幼保特例プログラム等資格系の展開検討

<実績>

1. 2019年度生涯学習事業京カレッジ出願状況について

(1) 前期・後期出願 提供科目、出願、受講許可状況について

①4分野(昨年度4分野)で大学講義・公開講座を257科目(前年度274科目)提供する。

1) 大学講義(A～I) 単位修得も可能な科目(科目等履修生・聴講生)

2) 市民教養講座(J) 健康・芸術・文化など幅広く学べる講座

3) 京都力養成コース(K) 京都をより深く学べるコース

4) 教養力養成コース(L) フィールドワークを通じて文化力・地域力(地域人材の育成)の向上を目的としたコース ※2017年度より

②出願者は実数で前期812名(前年度前期773名)、延べ数で前期1,558名(前年度前期1,407名)であり、新たに京都力養成コースに京都精華大学からと教養力養成コースに明治国際医療大学から科目提供があったことから昨年度より増となった。京都学講座は昨年度から13名増であった。年齢層は60～70代が71.3%(前年度72.6%)だが、70代が33.4%(前年度25.5%)、50代が15.1%

(前年度 11.8%)。と微増している。また幼保特例プログラムは 107 名(前年度 167 名)で定員における出願率も 12.0%(前年度 18.2%)と低下したのは出願母数の減少によるものと思われる。幼保特例プログラムの京カレッジ開講は、開講大学の中で本年度を最後に終了とすることを決定している。

③後期について 7/18 に公募情報を公開した。後期募集を行う科目は前期募集にて定員に満たなかったものから 75 科目(前年度 108 科目)となった。今年度の科目提供数が前年より少ない上で科目における出願率が高まったことから後期募集科目は前年度より減少した。

④後期出願を 8/13～8/24 で実施した結果、新規出願者 7 名、延べ 12 名で昨年度より減少した。

◇2019 年度京カレッジの出願状況(前期)について ※()内は 2018 年度

科目提供大学数	提供科目数	出願科目数	提供科目への出願率	出願者数				出願者合計		受講許可者数
				実数		延べ数		実数	延べ数	
				前期	後期	前期	後期			
31 (34) 大学・短期大学 2 (2) 機関	257 (274)	122 前期 122 (120)	47.4% (43.8%)	812 (773)	7 (14)	1,558 (1,407)	12 (15)	819 (787)	1,570 (1,422)	1,329 (1,297)

2. 京都学講座「京の伝統と先端～みやこが育んだ“モノ”と“技”～」の実施状況について

(1) 特徴的な状況

1) 2019 年度出願者数は 523 名(前年度 510 名)で定員を超え昨年度より増となった。昨年度 3 月に発生した京都中央郵便局郵便フロー変更による遅延トラブルは解消されている。京都学講座は受講希望者増加に対応するため 2017 年度より午前と午後で定員各 250 名合計 500 名のそれまでの 2 倍で募集している。前年度と同様に午前受講希望が多い。

2) 2017 年度からの定員拡大の中で加盟校学部生を対象に特別受講枠(1 回毎の受講可・無料・申込不要)を各講義で定員 25 名を設けており、2018 年度全講義合計 20 名(放送大学生以外)と 2017 年度より 4 名増となったが、少ない状況である。今期は学生向け広報を、加盟校からの広報依頼とともに、京都世界遺産 PBL 科目受講学生、インターンシップ説明会参加学生にチラシを配付している。

3) 2019 年度京カレッジ・京都学開講記念講座の実施

①2019 年 3 月 9 日(土) 13:30～15:00 「京をめぐる物語の舞台としての宇治～「響け! ユーフォニアム」をまじえて」

講師: 小説家 武田綾乃氏、河野道房同志社大学教授、八木透佛教大学教授

- ・最終応募者: 539 名(定員 250 名として広報) ※昨年度 406 名。
- ・抽選を行い、第 2 講義室(メイン会場)の当選連絡: 270 名、第 1 講義室(映像音声のみ)への案内: 252 名を応募者に連絡した。その他として郵便料金不足や著しい遅延応募者を含め合計 539 名。
- ・当日の参加結果は、第 2 講義室 207 名(出席率 76.7%)、第 1 講義室 128 名(出席率 50.8%)の合計 335 名(2018 年度の出席率はメイン会場 85.7%、映像音声のみ会場 46.9%)。

②基本講座、実地講座について

- ・基本講座 10 回について、午前・午後コース合計 500 名定員に 523 名(昨年度 509 名)の出願があつ

た。抽選と 4/18 振込結果から最終の受講者は 500 名（午前 262 名、午後 238 名）が決定した。

- ・実地講座 2 講座について実地講座①「京壁塗実習」が午前・午後で定員 60 名に出願者 97 名、実地講座②「清酒技術見学」が午前・午後で定員 80 名に出願者 209 名であり、抽選結果を 5/18 に通知した。

◇京都学講座 2019 年度実施状況について

回数	開講日 (土)	テーマ	講師 *敬称略	出席者		昨年度
				上午前	下午後	
特別	3/9	京をめぐる物語の舞台としての宇治ー「響け！ユーフォニアム」をまじえてー	武田綾乃 河野道房 八木透	335		321
1	5/18	ヨーロッパの王侯貴族に愛された japanー新たな美の発信ー	下出 祐太郎	233	213	246 205
2	6/1	京町家と数寄屋大工	中村 義明 川島 智生	217	193	236 175
3	6/8	伝統技術が育んだ最先端技術ー京都における精密機器産業史ー	榎本 晋虎	222	175	205 174
4	7/20	コロタイプって何ー京都に残る世界最古の写真印刷技術ー	山本 修	217	173	204 157
5	9/14	手に取って触れる古文書への挑戦ー京の匠の技と最先端技術との融合ー	吉田 謙一 小林 一彦	207	162	191 146
6	10/5	火炎土器、陶磁器、京焼からファインセラミックスへ	仲川 彰一	195	157	190 143
7	11/2	北山杉を育む人々ー京の木材をめぐる文化ー	中田 治 河原 典史	191	151	181 140
8	11/16	表具技術を用いた絵画・古文書の修理	宇佐美 直治	188	155	173 139
9	11/30	世界と西陣ー世界一の織物産地「西陣」ー	渡邊 隆夫	184	163	183 155
10	12/21	日本の伝統食「漬物」と「京漬物」ー京都でよかったー	平井 達雄 八木 透	198	159	201 155
実地 1	7/27	京壁の魅力を探ってー迎賓館を手がけた左官職人が語る歴史と壁塗実習ー	佐藤ひろゆき 川島 智生	30	29	36
実地 2	12/7	伏見・清酒技術の歴史と現在ー月桂冠の清酒造りと大手蔵の誕生ー	田中 伸治 川島 智生	28	30	74

※2019 年度確定受講者午前 262 名、午後 238 名（2018 年度午前 262 名、午後 223 名）

※「出席者数」には学生特別枠（基本講座のみ）での参加も含めている。

(2) 2020 年度京都学講座の企画について

7/3 第1回京都学企画検討委員会において来期のテーマの検討を開始した。来期は京都学講座第20回となることから、20回目としての特別感を出すようなテーマ設定をする。その中で「京都の本当の魅力とは何かを問う」また「京都の持つ多面的な魅力」への問いを歴史・文化・産業他全体において「なぜ人は京都に来たがるのか」を探ることで新たな京都の魅力を発見するような講座の方向性となった。8/9 第2回京都学企画検討委員会ではテーマを「なんで京都にきはったんどすか～京都学の二十歳を祝う～」(仮称)とし、歴史、芸能、祭り、音楽、大学、観光、企業、またスポーツや文化庁関係も講義案に入れて検討され、講師案への第1段階の打診を各委員から行うこととした。10/1 第3回京都学企画検討委員会ではテーマを「なんで京都に来はったんどす? -京都学講座の二十歳(はたち)を祝う-」に決定し、担当講師との調整を経て12/5 第4回京都学企画検討委員会において実施日程を以下のとおり確定した。なお、各回のテーマはメインテーマに照らしつつ、集客も意識し決めることとした。

【2020年度京都学講座 日程・講師・テーマ(案)】

回	開講日		テーマ	講師	所属・役職
特別 講座	3/7	土		マッハ文朱	タレント
				八木 透	佛教大学 教授
1	5/23	土	観光	若村 亮	株式会社らくたび 代表取締役
2	6/6	土	観光	近藤 誠一	元文化庁長官／公益財団法人京都市芸術文化協会理事 会長
3	6/20	土	企業	熊谷 保	彌榮自動車株式会社 不動産課長
4	8/1	土	芸術	宮永 愛子	現代美術家
5	9/12	土	歴史	山田 徹	同志社大学文学部 准教授
6	10/3	土	芸術	ピーダセン ヒラリー	同志社大学文学部 助教
7	10/24	土	建築	上田 篤	京都精華大学 名誉教授
				川島 智生	京都華頂大学 教授
8	11/14	土	芸能	ディエゴ ペレッキア	京都産業大学文化学部 准教授
9	11/28	土	スポーツ	明石 勇毅	日本女子プロ野球機構 京都フローラ 代表
10	12/19	土	教育	田中 智子	京都大学大学院教育学研究科 准教授
実地 講座	7/20 @鯉山保存会	月	祇園祭 鯉山	杉田 繁治	鯉山保存会 理事長 (国立民族学博物館名誉教授)
実地 講座	12/5 @横内敏人建 築設計事務所	土	建築	横内 敏人	建築家
				川島 智生	京都華頂大学 教授

(3) 2020年度京カレッジ・京都学講座開講記念講座の実施について

2020年3月7日(土)に俳優のマッハ文朱氏をお招きし、マッハ氏の講演60分、八木透教授(佛教大学/京都学企画検討委員長)との対談30分で実施することとした。定員250名に対し300名の応募が

あった。例年 1～2 割は欠席することもあり不備 16 名を除く 284 名の受講を許可する予定であったが、昨今の新型コロナウイルスの状況に鑑み、2020 年 2 月 26 日京都学企画検討委員会（書面会議）においてやむなく中止することを判断した。

3. 大学リレー講座の実施状況について

(1) 特徴的な状況

- 1) 京都学、宗教、歴史・文学、健康、自然科学への関心が高く、それを意識した講義テーマで 2019 年度も 10 大学 10 講座で実施する。2016 年度のパイロット事業から開始している。2019 年度新規参加は京都文教短期大学であり、4 年間で 21 大学・短期大学の参加となった。
- 2) 毎回の平均受講者数は 2016 年度約 60 名、2017 年度は約 140 名、2018 年度は約 210 名、2019 年度は約 210 名と市民への認知度が高まっており、各大学の教育研究の特徴アピールに効果的となっている。また、2017 年度から始まった文部科学省私立大学等改革総合支援事業補助金に講座参加がポイントとなる場合もあることから参加大学の拡がりも出てきている。

◇大学リレー講座の実施状況について（無料・申込不要 定員 250）

回	講座日	開講大学	テーマ	担当教員	人数
1	5/25	大谷大学	古代インドの人生を終える生活期	山本 和彦	222
2	7/13	京都文教大学	お釈迦さんと法然さんーその魅力を探るー	平岡 聡	285
3	8/24	京都橘大学	「七人の侍」と「赤穂浪士の討ち入り」を読み解くー作業療法士という医療職の視点からー	近藤 敏	213
4	9/28	明治国際医療大学	東洋医学の健康観と身体のみかたー身体チェックから養生までー	和辻 直	255
5	10/12	花園大学	ブッダの教えはどう広まったのか	柳 幹康	中止
6	10/26	京都文教短期大学	100 歳まで生きる身体(からだ)づくりー健康寿命を伸ばす運動と栄養ー	森井 秀樹	202
7	11/9	京都精華大学	銀幕に輝く小説のヒロインたちー谷崎潤一郎の文学と映画制作を中心にー	西野 厚志	90
8	1/11	同志社女子大学	京都観光学を考える視点ー江戸時代の観光ガイドブックとの比較を通してー	天野 太郎	209
9	1/18	龍谷大学	浄土真宗の歴史ー親鸞から龍谷大学までー	井上 見淳	231
10	2/8	京都先端科学大学	ニホンミツバチの興味深い生態ー外来のセイヨウミツバチと野生のニホンミツバチの違いー	坂本 文夫	147

4. 2020 年度の生涯学習事業にむけて

(1) リカレント教育関係の推進

- ・第 5 ステージプランとして大学におけるリカレント教育を推進するため、6/25 第 1 回教育事業企画検討委員会において、財団のリカレント教育の推進方針（定義とビジョン）と「リカレント教育企画検討委員会」の設置と役割について決定した。あわせて 2019 年度指定調査課題（京都女子大学）として

今年度において研究をすすめる。

【財団で検討するリカレント教育の定義】「現役で働く人・世代」が、教養的なものよりも、様々な職種での力量形成を含めた「働くこと」に係る学び直しや継続的な学び」とする。

【財団のリカレント教育推進のビジョン】10年後の京都の大学が、「生涯を通して学びたいときに学びたいものを学ぶための大学」として、多くの社会人の知的好奇心に応えることに留まらず、各年齢段階の多様な職業、社会での様々な役割を持つ人に対して、人生の現在と未来において、どのように仕事をしていくかという学びの場としても機能していること。このリカレント教育の展開によって、「大学のまち京都、学生のまち京都」として、「学生と社会人の学び合い」が盛んに行われ、そこで取り込まれる新たな価値の創造を通じて、京都の各大学が持続的に人材育成力を高めていること。財団はこのビジョンの下、加盟校支援と加盟校の取り組みをリードする事業を行う。

- ・リカレント教育企画検討委員の委嘱先を教育事業企画検討委員長・教育事業部長の高木先生と設定。
- ・委員 10 名について 8/23 教育事業企画検討委員会承認となり 9/11 に第 1 回リカレント教育企画検討委員会を実施し、実施施策とスケジュールについて検討を開始した。
- ・10/15 第 2 回委員会では、各大学で実施しているプログラム等、および指定調査課題の中間状況を共有しつつ、実施施策について協議を開始し、1/21 第 3 回委員会においても具体化に向けて継続して協議した。

(2) 大学リレー講座の 2020 年度開講について

- ・11/6 教育事業企画検討委員会を経て、11/15 単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議にて募集した結果、申請があった 11 大学によるリレー講座を実施する。

回	講座日	開講大学	テーマ	担当教員
1	5/30	花園大学	ブッダの教えはどう広まったのか	柳 幹康
2	6/13	京都先端科学大学	ミツバチの恵み －ミツバチとヒトとの密接なかかわり－	坂本 文夫
3	6/27	京都精華大学	戦国期京都の都市景観 －戦災復興の視点から－	吉永 隆記
4	7/4	京都橘大学	何が人を元気にする？ －認知症と脳の健康と Well-being－	小川 敬之
5	7/11	種智院大学	絵巻『弘法大師行状絵』を読む	西 弥生
6	9/19	明治国際医療大学	柔よく剛を制す －柔らかさを手に入れて、健やかな生活を－	松本 和久
7	9/26	同志社女子大学	観光まちづくりの可能性 －北海道富良野におけるまちづくりの実践例－	天野 太郎
8	10/10	平安女学院大学	巨石信仰と日本庭園	高橋 義人
9	10/31	佛教大学	自己をみつめる －法然からのメッセージ－	伊藤 真宏

10	12/26	大谷大学	現代社会と仏教 －濁世を生きる教え－	藤原 正寿
11	1/16	龍谷大学	伝教大師最澄と比叡山 －日本仏教の母山として－	道元 徹心

(3) 京カレッジの2020年度開講について

- ・各大学のシラバスが確定し2020年度の京カレッジ科目数は225(前年比▲32科目)となった。

5. その他

(1) 下京区140周年記念 京都学講座特別講座の企画

- ・下京区より依頼を受け、下京区民を主たる対象に140周年記念事業となる京都学講座の特別講座を、財団と下京区140周年記念事業実行委員会との共催で実施する。

日時・場所：2019年10月13日(日)10:30~12:00・4階第2講義室(定員250名)

講演名：職人のまち・下京を継承する ～伝統工芸の未来を語る～

趣旨：下京区の歴史を職人の町を軸に振り返ると同時に職人の未来を担う若手の持つ思いを共有し次代への継承を考える企画とする。

講師：漆芸家・京都産業大学教授 下出祐太郎氏

若手職人の皆さん 山本晃久氏(神鏡)、阪田瑤子氏(京蒔絵)、高橋知聖氏(京鹿の子絞り)

受講できる方：下京区民、2019年度京都学講座受講者

参加者数：約50名

【実施スケジュール(主要事項)】

4月1日~4月中旬	京カレッジ履修可否通知(各大学から出願者へ文書にて通知)
4月6日(金)	京都学講座受講許可者発送
4月18日(木)	京都学講座 受講料振込期日 受講許可者最終決定
5月18日(土)	京都学講座 実地講座抽選・結果通知発送
5月18日(土)	京都学講座開講 第1回(全10回、~1月)
5月25日(土)	京カレッジ大学リレー講座第1回(担当:大谷大学)→全10回
5月~6月	京都学講座実地講座1.2合否通知、京カレッジ履修可者会員証の発行
6月1日(土)	京都学講座 第2回
6月8日(土)	京都学講座 第3回
6月25日(火)	第1回教育事業企画検討委員会
7月3日(水)	第1回京都学企画検討委員会
7月12日(金)	第1回単位互換・京カレッジ事務局担当者会議
7月13日(土)	京カレッジ大学リレー講座第2回(担当:京都文教大学)
7月18日(木)	後期出願科目発表75科目(昨年度108科目)
7月20日(土)	京都学講座 第4回
7月27日(土)	京都学講座 実地講座1(京都府左官技能専修学院・京壁の魅力)
8月9日(金)	第2回京都学企画検討委員会

8月13日～8月24日	後期出願期間 ※持参出願受付 8/24 キャンパスプラザ京都
8月31日(土)	出願者データアップロード、出願票の開講大学への送付
8月24日(土)	京カレッジ大学リレー講座第3回(担当: 京都橘大学)
9月11日(水)	リカレント教育企画検討委員会(第1回)
9月14日(土)	京都学講座 第5回
9月28日(土)	京カレッジ大学リレー講座第4回(担当: 明治国際医療大学)
10月1日(火)	第3回京都学企画検討委員会
10月5日(土)	京都学講座 第6回
10月12日(土)	京カレッジ大学リレー講座第5回(担当: 花園大学)
10月13日(日)	京都学講特別講演会下京区140周年記念講座
10月15日(火)	リカレント教育企画検討委員会(第2回)
10月26日(土)	京カレッジ大学リレー講座第6回(担当: 京都文教短期大学)
11月2日(土)	京都学講座 第7回
11月6日(水)	第2回教育事業企画検討委員会
11月9日(土)	京カレッジ大学リレー講座第7回(担当: 京都精華大学)
11月15日(金)	第2回単位互換・京カレッジ事務局担当者会議
11月16日(土)	京都学講座 第8回
11月30日(土)	京都学講座 第9回
12月5日(木)	第4回京都学企画検討委員会
12月7日(土)	京都学講座 実地講座2(月桂冠)
12月21日(土)	京都学講座 第10回(最終)
12月1日～1月20日	シラバス入力期間
1月11日(土)	京カレッジ大学リレー講座第8回(担当: 同志社女子大学)
1月中旬～	京カレッジ・京都学講座2020年度公募ニュースリリース開始
1月18日(土)	京カレッジ大学リレー講座第9回(担当: 龍谷大学)
2月上旬	京カレッジポスター・チラシ・京都学リーフ配布開始(市・関連施設)、
2月14日(金)	京カレッジシラバス校正・修正締切
2月8日(土)	京カレッジ大学リレー講座第10回(担当: 京都先端科学大学)
2月15日(土)	京カレッジ・京都学講座新聞広報(京都・読売・朝日)
2月21日(金)	京カレッジ・京都学講座開講記念講座3/7の応募締切
3月7日(土)	2020年度科目公表、募集ガイド・大学リレー講座チラシ配布開始
3月6日～3月19日	京カレッジ出願受付(3月18日～19日持参受付)
3月7日(土)	2020年度京カレッジ・京都学講座開講記念講座【中止】
3月下旬	京カレッジ出願出願票・出願者データの各大学への送付

(3) インターンシップ事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

財団によるインターンシップ・プログラムは、これまで22年にわたり、学生の大学から社会への接続を目的としたキャリア教育として大学連携によって展開している。近年は加盟校、企業・団体がそれぞれインターンシップを行うようになり、新卒採用目的を含めてインターンシップが普及したことから、財団による比較的期間が長いプログラムへの学生参加と受入協力の企業・団体が減少している。一方で、学生が十分な企業研究や職業意識の形成ができていない状態での進路選択が多いことへの懸念と、また、京都地域の産業活性化に資するインターンシップのあり方の研究の必要性も出されている。学生が職業観を深め、京都地域の各種産業への関心を高め、受入れ先団体の組織改善に資するという、京都全体での人材育成と社会活性化を促進するインターンシップを進める。

1. 学生の成長と企業・団体の活性化に資するインターンシップ・プログラムの促進

(1) 各コースの教育目標とその方法について必要な見直しを行う。

(2) 学生の専門分野を活かした社会経験と受入れ先の組織課題の進捗に係ることのできるプログラムの構築

(3) 優れた実習プログラムのモデル化や、受入れ先間の経験交流を促進し、プログラム全体の質向上を図る。

(4) 2年生次生向けのプログラム説明や広報の強化

(5) コーディネーターと事務局の能力発揮を含む体制づくり

2. 加盟校のインターンシップ・プログラムの今後の方向性調査と連携の推進

(1) 加盟校とのプログラム内容に係わる接点の拡大

(2) 加盟校・財団の連携による学生広報の強化

3. 優れた実習プログラムを実施する受入れ先企業・団体と大学との接点の拡大

(1) 優れた受入れ先への感謝状贈呈の継続実施の方法を検討する。

(2) 受入れ先と大学の接点の拡大

4. 修了生（OB・OG）との継続的連絡体制の構築と現役学生への教育支援

(1) 修了生（OB・OG）と事務局の連携強化

(2) 修了生（OB・OG）と現役生への支援強化

5. 新たなインターンシップ・プログラムの調査研究

(1) 外部団体とのインターンシップについての意見交換の機会の設定

(2) 優れたインターンシップを実施する大学(加盟校以外も含む)、団体等への積極的な情報収集

6. メディア等を活用した情報発信

(1) 外部団体等積極的な関係強化

(2) メディアを通じた発信力の向上

<実績>

1. 運営について

(1) 募集ガイダンスの実施状況

1) 各大学キャンパスでの出向ガイダンス 期間：2019年3月27日～4月26日

①全体ガイダンス実施大学数：18大学、全28回 参加学生数：延約3,200名（2018年度 18大学 全28回 延約3,600名）

同志社（今出川、京田辺）、佛教2、京都学園（亀岡1、太秦2）、龍谷（深草2、大宮1、瀬田2）、京女、嵯峨美術、京都橘、京都教育、府立大、同女（京田辺、今出川）、京都文教、京都精華、京都産業、ノートルダム、光華、京都外国語、花園、京都光華、成安造形

②加盟大学学部等への説明

立命館、龍谷

2) 事前説明会 4/20（土）

学生参加者数 約190名（2018年度約150名）

相談会協力者数（修了生） 14名（2018年度 14名）

3) 長期プロジェクトコース説明会・相談会 4/25（木）

学生参加者数 37名（2018年度 30名）

相談会協力者数（修了生） 2名（2018年度 2名）

(2) 出願・マッチング活動

1) 2019年度出願・受講・受入企業状況（5/31 合否発表時）および修了状況について（2019/11/29 時点）

コース名	学生				企業・団体		
	出願者数	実習許可者数	受講率	修了者数	登録団体数	受入団体数	受入率
ビジネス	254 (265)	155 (173)	88.5% (89.8%)	146 (166)	163 (156)	85 (95)	52.1% (60.9%)
パブリック		70 (65)		68 (62)	36 (37)	20 (28)	55.6% (75.7%)
長期プロジェクト	25 (21)	25 (19)	100.0% (90.4%)	25 (18)	13 (10)	8 (6)	61.5% (60.0%)
合計	279 (286)	250 (257)	89.6% (89.8%)	239 (246)	212 (203)	113 (129)	53.3% (63.5%)

※（ ）内は 2018 年度実数 出願大学は 27 大学・短期大学（昨年度 30）加盟・非加盟あわせて

全出願者数は昨年度より 7 名の微減。今回力を入れた 2 回生向けと長期プロジェクトコースの広報の効果もあり 2 回生は昨年度より 24 名（全体の 26.2%）の増加、長期プロジェクトコースは京都ハンナリーズのプロジェクトの中止にかかわらず 4 名の増加となった。一方で実習許可者数は昨年度より 7 名の微減となり、マッチング率（受講率）は昨年度より 0.2%の減少になった。

2) 財団受入状況について

ビジネス・パブリックコースで 3 名、長期プロジェクトで 3 名となった。実習場所について、総務部横の打合せスペース他を 8～9 月を中心に学生用にに使わせていただいた。

3) セミ教員（コーディネーター（CO））の減について

・ビジネス・パブリックコースでは、出願者が昨年度の 265 名から 11 名減の 254 名になった。昨年度の

出願数を参考にゼミ教員を18名確保していたが、1クラスあたりのゼミの受講者数を適正規模に維持するために、ゼミ教員を1名減らし（「C0業務休み」とする）、17クラスで実施することとした。

(3) 実施状況、合否発表後学生辞退・受入先トラブル調整他

1) 合否発表後の辞退学生について (2名)

内訳) 実習情報の確認不足による実習へのモチベーションの低下、体調不良

2) 実習中止について (1名)

内訳) 受入先前での実習生(未成年)の喫煙により、受入先が実習を中止した

(4) 2019年度成績評価対象の学生について

ビジネス・パブリックコース 成績対象者 214名 成績対象外受講生 11名

長期プロジェクトコース 成績対象者 25名 成績対象外受講生 0名

(5) その他

- ・発達障害を持つ学生の出願があり、出願期限に遅れたため出願資格はないが、所属大学の障がい学生支援室と相談しながらの対応が1件あった。

2. 受入先向けの「受入先実習プログラム研究会」の開催について

受入先同士の交流、および実習内容の理解を深める機会として、2018年度に実施した受入先説明会を一部改編し「受入先実習プログラム研究会」と内容に即した名称に改め2月14日に開催した。

3. 2020年度へ向けた受入先開拓について

(1) ビジネス・パブリックコース

① 受入先を確保する方策について

次年度は、昨年度からの受入先数の増加を目指すのではなく、既存の受入先と調整し、実習内容の魅力を引き出すよう努める。(2020年度 192件(2020.2.21現在)、2019年度:211件)

② 官公庁での受入拡大について

受講学生数の確保や受入先とのマッチングの機会を更に創出する。

(2020年度 26件(2020.2.21現在)、2019年度:20件)

(2) 長期プロジェクトコース

2020年度担当するコーディネーター人数の関係から、プロジェクト数は昨年度並みとする。新たに京都府北部地域活性化のためのプロジェクトを実施する。

4. 学生への広報の方針について

低回生向け広報として、後期の授業開始時期(9月下旬~10月)に続き、最終講義時(1月中旬)にも低回生向けにチラシを新たに作成し、広報を強化している。

また、理工系分野の実習先への参加者の向上を目指し、理工系学部を有する大学へ積極的な広報を展開する。

5. インターンシップ・プログラムコーディネーターと事務局の能力発揮を含む体制づくり

ビジネス・パブリックコースにおいて、新任のコーディネーター養成の観点から施策を検討し、2020年度からは各コーディネーター教員が担当する事前事後学習の取り組みについて共有することにした。

6. 経済団体との連携強化について

京都経済同友会、京都工業会、京都経営者協会、および京都商工会議所とインターンシップに関する意見交換を行い、アクションプランである「新たなインターンシップ・プログラムの調査研究」や「メディア等を活用した情報発信」の実施に向け連携することを確認した。

【実施スケジュール（主要事項）】

3月～4月	出向ガイダンス実施
3月下旬～4月初旬	各大学への出向ガイダンス実施
4月18日（木）	ビジネス・パブリックコース C0 会議①
4月19日～5月8日	インターンシップ学生 web 登録実施期間
4月20日（土）	学生対象事前説明会・個別相談会（キャンパスプラザ）
4月23日（火）	財団職員向け出願・受付業務説明会
4月25日（木）	長期プロジェクトコース説明会、個別相談会
5月8日（水）	学生 web エントリー締切
5月10日～11日	出願・面接実施
5月12日（日）～	出願票確認、受入先選考（一部）、マッチング
5月23日（木）	長期プロジェクトコース コーディネータ会議①
6月1日（土）9:00	インターンシップ・全マッチング可否結果発表
6月4日（火）	各大学第1回科目担当者会議
6月6日（木）	ビジネス・パブリックコース 受入担当者交流・C0 会議②
6月13日（木）	長期プロジェクトコース オリエンテーション プロジェクトマネジメント①
6月15日（土）	ビジネス・パブリックコース事前学習①、C0 会議③（龍谷大学深草 c）
6月20日（木）	長期プロジェクトコース プロジェクトマネジメント②
6月21日（金）	インターンシップ企画検討委員会①
6月27日（木）	長期プロジェクトコース プロジェクトマネジメント③
6月29日（土）	ビジネス・パブリックコース事前学習②、C0 会議④（龍谷大学深草 c）
7月4日（木）	長期プロジェクトコース プロジェクトマネジメント④・C0 会議②
7月6日（土）	ビジネス・パブリックコース事前学習③、C0 会議④（龍谷大学深草 c）
7月11日（木）	長期プロジェクトコース プロジェクトマネジメント⑤
7月12日～10月	実習、C0 中間指導、事務局お詫び等受入先訪問※長期プロジェクト11月まで
7月19日（金）・20日（土）	ビジネス・パブリックコース事前学習レポート提出（キャンパスプラザ）
9月5日（木）	長期プロジェクトコース プロジェクトマネジメント⑥
9月21日（土）	ビジネス・パブリックコース事後学習④・修了式、C0 会議⑥（龍大深草）

10月3日(木)	長期プロジェクトコース プロジェクトマネジメント学習⑦
〃	長期プロジェクトコース C0会議③
10月4日(金)・5日(土)	ビジネス・パブリックコース事後学習レポート提出(キャンパスプラザ)
10月10日(木)	長期プロジェクトコース プロジェクトマネジメント学習⑧
10月17日(木)	ビジネス・パブリックコース C0成績採点提出期限
〃	ビジネス・パブリックコース C0会議⑦ 最終
10月18日(金)	第2回インターンシップ事業企画検討委員会
10月24日(木)	長期プロジェクトコース プロジェクトマネジメント学習⑨
10月31日(木)	長期プロジェクトコース プロジェクトマネジメント学習⑩
11月9日(土)	長期プロジェクトコース 成果報告会・修了式
11月14日(木)	長期プロジェクトコース 学習レポート報告提出
11月28日(木)	長期プロジェクトコース C0会議④・受入先振り返り会
11月29日(金)	第3回インターンシップ事業企画検討委員会
12月6日(金)	各大学第2回科目担当者会議(単位認定)
12月4日(水)～1月30日(木)	受入先登録期間(募集ガイド掲載締切1/31)に係る企業訪問・連絡
1月下旬～2月	1回生向け2回生次受講案内他について各大学への訪問
2月14日(金)	受入先実習プログラム研究会
2月21日(金)	第4回インターンシップ事業企画検討委員会
3月中旬～	学生への情報公開、各大学への出向ガイダンス

各種委員会等の開催について

(1) 単位互換事業・生涯学習事業(京カレッジ)

① 教育事業企画検討委員会(専門委員会)

6月25日(火) 第1回(主要議題:2020年度以降の単位互換事業・生涯学習事業の展開について)

11月6日(水) 第2回(主要議題:2020年度単位互換事業・生涯学習事業の展開について)

※上記の基本議題の実施の他、2019年度は新PBL科目やリカレント教育に関する審議・検討を行う会議または懇談会の実施の可能性がある。

(2) 生涯学習事業(京カレッジ)

① リカレント教育企画検討委員会 ※2019年度新規発足

主要議題:財団が推進するリカレント教育に関する施策の企画検討

9月11日(水) 第1回(主要議題:リカレント教育推進施策方針とスケジュール他について)

10月15日(火) 第2回(主要議題:リカレント教育推進施策案の企画検討について)

1月21日(火) 第3回(主要議題:2020年度リカレント教育推進施策の企画検討について)

② 京都学企画検討委員会

- 7月3日(水) 第1回(主要議題:2019年度京都学講座の実施状況と2020年度実施方針)
- 8月9日(金) 第2回(主要議題:2019年度実施状況、2020年度京都学講座テーマ・講義案について)
- 10月1日(火) 第3回(主要議題:2020年度京都学講座テーマ・各講義・講師案の調整について)
- 12月5日(木) 第4回(主要議題:2020年度京都学講座テーマ・講師の決定について)

(3) インターンシップ事業

① インターンシップ事業企画検討委員会(専門委員会)

- 6月21日(金) 第1回(主要議題:2019年度事業の目的の明確化・具体化について他)
- 10月18日(金) 第2回(主要議題:2020年度講義計画(シラバス)について他)
- 11月29日(金) 第3回(主要議題:2020年度講義計画・スケジュールについて他)
- 2月21日(金) 第4回(主要議題:2019年度プログラムの振り返り、2020年度運営について他)

② インターンシップ・プログラム コーディネーター会議(ビジネス・パブリックコース)

- 4月18日(木) 第1回(主要議題:2019年度インターンシップ・プログラム事業推進体制他)
- 6月6日(木) 第2回(主要議題:事前学習の進め方について 他)
- 6月15日(土) 第3回(主要議題:事前学習実施に関わる連絡事項について 他)
- 6月29日(土) 第4回(主要議題:実習・中間指導について 他)
- 7月6日(土) 第5回(主要議題:実習状況の報告について 他) ※台風による日程変更あり。
- 9月21日(土) 第6回(主要議題:2020年度講義計画(シラバス)について 他)
- 10月17日(木) 第7回(主要議題:成績評価確定、2020年度講義計画確定 他)

③ インターンシップ・プログラム コーディネーター会議(長期プロジェクトコース)

- 4月25日(木) 受入先合同打合せ(主要議題:2019年度受入先・コーディネータ顔合せ、説明会準備他)
- 5月23日(木) 第1回(主要議題:2019年度成績基準、各プログラム実施目的について 他)
- 6月13日(木) 受入先合同会議 第1回(主要議題:2019年度年間スケジュール 他)
- 7月4日(木) 第2回(主要議題:プロジェクト毎の内容確認について 他)
- 10月3日(木) 第3回(主要議題:プロジェクト毎の夏期休暇中の進捗状況について 他)
- 11月28日(木) 第4回(主要議題:成果報告会、成績評価、2020年度講義計画 他)
- 受入先合同会議 第2回(主要議題:年度総括、2020年度講義計画 他)

(1) FD事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

FD 企画研究委員会の前身事業である文部科学省の戦略的・大学連携支援事業や FD の義務化から 10 年が経過した。FD 事業の運営は、FD フォーラムを担当する「FD フォーラム企画検討委員会」および FD フォーラム以外の FD 事業を担当する「FD 企画研究委員会」の 2 委員会体制で推進する。

◆FD フォーラム

今年度で 25 回目を迎え、加盟大学の情報発信を重視した運営や参加者間の交流、取り組みの振り返りを行う。また、分科会の双方向的な運営などによる相互交流やポスターセッションによる情報発信についても、引き続き重視していくこととする。

◆FD 合同研修プログラム

2018 年度に「新任教員 FD 合同研修」を従来の 1.5 日×2 回のプログラムから計 5 日間のプログラムに細分化するとともに、名称を「FD 合同研修プログラム」に改称し、新任教員層以外の教員そして職員が参加しやすい名称とした。2019 年度は、昨年度の参加者増加の成果を踏まえつつ、プログラム内容の再度点検するとともに、加盟校教職員の抱える問題や課題、ニーズに合った実施形態やテーマを設定し実施する。

◆大学執行部塾

各加盟校の学長等の大学執行部層を対象とする研修プログラムで、例年 6 月下旬に行われる当財団の会員が集まる会員総会開催日に実施している。2019 年度は、財団設立 25 周年記念講演会を兼ねて開催する。

◆京都 FD 交流会

加盟校教職員の FD 活動における工夫や悩みを共有しながら課題の解決に向けたヒントを探るなど、FD に関する様々なテーマのもと、加盟校の枠を越えて教職員が交流する機会を提供する。

◆高等教育情報 NAVI「教まちや」

加盟校をはじめとする教育機関が高等教育に関するイベント情報を収集する際のハブ機能を担うツールとして 2014 年度に開始した。(1)イベントの投稿・掲載、(2)教まちや News (ブログ機能)、(3)メールマガジンの 3 つのコンテンツがある。「教まちや News」に掲載する大学の幅を広げるため、加盟校の事務職員によるリレー方式での掲載など、引き続き、様々な大学の特色ある取り組みを発信していく。

<実績>

◆大学執行部塾（兼 大学コンソーシアム京都設立 25 周年記念講演会）

日時 2019年6月22日（土）11:00～12:20
場所 キャンパスプラザ京都 5階 第1講義室
テーマ 「グローバル化する社会と日本の大学の行方」
講師 ウスビ・サコ 氏（京都精華大学 学長）
参加者数 103名（加盟校：61名、非加盟校：4名、一般33名）
【昨年度実績 加盟校：38名】

◆IR フォーラム

日時 2019年7月28日（日）13:00～17:00
場所 キャンパスプラザ京都 5階 第1講義室
テーマ 「変革する大学！ 学修成果の可視化や、高校生へのキャリア教育による高大接続改革の実践～IRを活用した授業改善や志望者数増につながった取り組み～」

基調講演

テーマ 「学生の学びと成長を促す授業と組織改革
～トランジション調査から見る教育の課題と対策」
講師 溝上 慎一 氏（学校法人桐蔭学園 理事長、トランジションセンター 所長、
桐蔭横浜大学 特任教授）

事例発表 1（教育 IR）

タイトル 「ディプロマポリシーを核とした到達目標型教育への改革
～アセスメント・学生インタビュー結果からの授業改善～」
報告者 小山 理子 氏（京都光華女子大学短期大学部 ライフデザイン学科学科長 准教授）

事例発表 2（経営 IR）

タイトル 「桜美林大学における高大接続の取り組み
～高校生の成長を支援し、志願者1万人増を達成した実践例～」
報告者 高原 幸治 氏（桜美林大学 入学部（アドミッションズオフィス）部長）
参加者数 201名（加盟校：69名、非加盟校：132名）
【昨年度実績 192名（加盟校：36、非加盟校：126名）】

◆京都 FD 交流会

(1) 第1回京都 FD 交流会

日時 2019年8月1日（木）18:30～20:30
場所 キャンパスプラザ京都 5階 第3・4演習室
テーマ 『「教育の質」について考える』
参加者数 35名（加盟校：30名、非加盟校等：5名）

(2) 第2回京都 FD 交流会

日時 2019年11月13日（水）18:30～20:50
場所 キャンパスプラザ京都
テーマ 『「学修の到達度」について考える』
参加者数 21名（加盟校：15名、非加盟校等：6名）

(3) 第3回京都 FD 交流会

日時 2020年2月22日（土）13:30～16:30
場所 キャンパスプラザ京都 2階ホール
全体テーマ 『0からわかるルーブリック』

講師 土持ゲーリー法一氏
(京都情報大学院大学 副学長 教授／高等教育・学修革新センター長)
講演テーマ 「ルーブリック～学習成果の可視かは可能か」
参加者数 34名

◆第25回FDフォーラム

【新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて開催中止を決定（2020年2月19日付決定）】

全体テーマ 「主体的な大学のあり方を考える」
日時 2020年2月29日（土）・3月1日（日）
場所 龍谷大学 深草キャンパス
申込者数 689名【最終確定】

【1日目／2月29日（土）】

シンポジウム①

会場 3号館3階301号室
テーマ 『いま、あらためて「大学改革」考える』
シンポジスト 小澤 弘明 氏（千葉大学 副学長／国際教養学部 教授）
山田 剛史 氏（京都大学 高等教育研究開発推進センター 准教授）
渡邊 浩一 氏（大阪経済法科大学 教養部 准教授）
石田 涼 氏（学校法人京都精華大学 理事長）
コーディネーター 山田 創平 氏（京都精華大学 人文学部 准教授）

シンポジウム②

会場 3号館2階201教室
テーマ 『SDGsと大学～高等教育を通じた社会課題と同時解決はいかにして可能か？』
基調講演者 佐藤 真久 氏（東京都市大学大学院 環境情報学研究科 教授）
話題提供者 白石 克孝 氏（龍谷大学 副学長〈SDGs担当〉／政策学部 教授）
小辻 昌平 氏（サラヤ株式会社 コンプライアンス推進担当課長）
コメンテーター 熊野 英介 氏（アマタホールディングス株式会社 代表取締役）
コーディネーター 山口 洋典 氏（立命館大学 共通教育推進機構 准教授）

情報交換会

会場 深草キャンパス 22号館 地下食堂

【2日目／3月1日（日）】

分科会（12分科会）

会場 深草キャンパス 和顔館地下1階・地下2階
第1分科会：初年次教育を考える
第2分科会：大学におけるロボットやICTの活用事例
第3分科会：アクティブラーニングは、大学に必要なのか？
第4分科会：SDGsと大学教育－実践編－
第5分科会：地域社会で活かす大学の「多文化共生」教育
第6分科会：女性のエンパワーメントから考える21世紀の社会を創る大学教育
第7分科会：初めての反転授業デザインワークショップ
第8分科会：問題意識から始める授業改善ワークショップ
第9分科会：若手研究者からみた「大学改革」
第10分科会：モチベーションクライシスと向かい合う
第11分科会：現代的な社会課題に対応する子ども家庭支援専門職養成
第12分科会：VUCA時代のSTEAM教育～価値を共創する学びの場のデザインの論理と倫理

ポスターセッション

会 場 深草キャンパス 和顔館
応募者数 34 件

◆FD 合同研修プログラム・テーマ別研修会

<実績>

(1) FD 基礎知識

日 時 2019年9月28日(土) 14:00~16:00
場 所 キャンパスプラザ京都
講 師 佐藤 龍子 氏(龍谷大学 農学部 教授)
耳野 健二 氏(京都産業大学 現代社会学部 教授)
吉田 直子 氏(池坊短期大学 幼児保育学科 専任講師)
参加者数 16名(加盟校:11名、非加盟校等:5名)

(2) 授業設計・授業実践ワークショップ

日 時 2019年10月5日(土) 14:00~16:00
場 所 キャンパスプラザ京都
講 師 岡本 信照 氏(京都外国語大学・京都外国語短期大学 外国語学部 教授)
谷 哲弥 氏(大谷大学 教育学部 講師)
参加者数 11名(加盟校:4名、非加盟校等:7名)

(3) 学習支援・特別ワークショップ

日 時 2019年10月29日(火) 18:00~20:00
場 所 キャンパスプラザ京都
講 師 村田 淳 氏(京都大学 学生総合支援センター 准教授)
参加者数 17名(加盟校:14名、非加盟校等:3名)

(4) 学習者中心の授業ワークショップ

日 時 2019年11月1日(金) 18:00~20:00
場 所 キャンパスプラザ京都
講 師 澤田 美恵子 氏(京都工芸繊維大学 基盤科学系 教授)
永野 聡 氏(立命館大学 産業社会学部 准教授)
森 希理恵 氏(平安女学院大学 短期大学部 保育科 教授)
参加者数 19名(加盟校:11名、非加盟校等:8名)

(5) シラバス作成のための基礎知識・ワークショップ

日 時 2019年12月14日(土) 14:00~16:00
場 所 キャンパスプラザ京都
講 師 浅田 瞳 氏(華頂短期大学 幼児教育学科 准教授)
松本 真治 氏(佛教大学 文学部 教授)
参加者数 13名(加盟校:9名、非加盟校等:4名)

(6) ケースメソッドを用いた成績評価のためのワークショップ

日 時 2020年2月8日(土) 14:00~16:00
場 所 キャンパスプラザ京都
講 師 高尾 郁子 氏(京都薬科大学 学生実習支援センター 助教)
中川 雅博 氏(京都先端科学大学 経済経営学部 准教授)
参加者数 15名(加盟校:7名、非加盟校等:8名)

【実施スケジュール（主要事項）】

- 5月22日（水） 第1回FD企画研究委員会
6月22日（土） 大学執行部塾（兼 大学コンソーシアム京都設立25周年記念講演会）
6月25日（火） 第2回FD企画研究委員会
7月4日（木） 第1回FDフォーラム企画検討委員会
7月24日（水） 全体テーマ・シンポジウムに関する意見交換会
7月28日（日） IRフォーラム
8月1日（木） 第1回京都FD交流会
8月6日（火） 第2回FDフォーラム企画検討委員会
9月10日（火） 第3回FDフォーラム企画検討委員会
9月17日（火） 第3回FD企画研究委員会
9月28日（土） FD合同研修PG・テーマ別研修「FD基礎知識」
10月5日（土） FD合同研修PG・テーマ別研修「授業設計・授業実践WS」
10月28日（月） 第4回FDフォーラム企画検討委員会
+会場下見（龍谷大学 深草キャンパス）
10月29日（火） FD合同研修PG・テーマ別研修「学習支援・特別WS」
11月1日（金） FD合同研修PG・テーマ別研修「学習者中心の授業WS」
11月13日（水） 第2回京都FD交流会
12月14日（土） FD合同研修PG・テーマ別研修「シラバス作成のための基礎知識・WS」
12月17日（火） 第4回FD企画研究委員会
2020年1月28日（火） 第5回FDフォーラム企画検討委員会
2月8日（土） FD合同研修PG・テーマ別研修
「ケースメソッドを用いた成績評価のためのWS」
2月22日（土） 第3回京都FD交流会
2月19日（水） 第6回FDフォーラム企画検討委員会（メールによる開催）
2月29日（土） 第25回FDフォーラム **【開催中止】**
~3月1日（日）
3月17日（火） 第5回FD企画研究委員会

(2) SD事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

◆SD 共同研修プログラム（旧：大学職員共同研修プログラム）

社会人としての基礎知識から大学職員としての汎用的なスキルを修得できる場として提供し、職務遂行能力向上に寄与する。能力・スキル向上型研修に加えて、「基礎知識獲得型」研修を実施し、研修の幅を広げ、より多様な受講者に対応できるよう企画する。

◆SD ゼミナール

2019年度で実施5年目を迎え、過去4年間実施してきた内容や受講生アンケート結果を参考に、応募条件や人数、開講形態、内容等を見直し、プログラムの充実を図る。また、昨年度に引き続き「SDゼミナール修了生のフォローアップ研修」を設け、自己研鑽の場を提供する。そして、管理職や修了生を対象としたSDゼミナールの階層別研修の実施も視野に入れて検討する。

◆SD フォーラム

高等教育の動向を踏まえての先進事例紹介の場、また、外部有識者の知識やノウハウを獲得する場として提供し、新たな知見修得や人的ネットワークの構築に寄与する。各加盟校や他組織における類似企画との差別化を図るために、プログラム（分科会数、規模等）や運営面でより魅力的なものとなるよう、アンケート結果等からニーズを分析し、一層充実したSDフォーラムの在り方を検討する。

◆SD ガイドブック

隔年で更新しており、2019年度版を発行した。加盟校に有効活用を促す。

◆SD 研修担当者交流会

財団主催の各種SD研修について、各加盟校のSD研修担当者を対象とする説明会と合わせて、各加盟校のSDに関する取り組みなどについて意見交換できる場を提供するとともに、担当者間のネットワーク構築に寄与する。

◆SD 共同研修プログラム

<実績>

(1) ビジネスマナー

日時 2019年3月27日（水）、3月28日（木）、5月31日（金）9:30～17:00

対象 全職員

講師 高岡 里衣 氏（株式会社ウィズネス 教育コンサルタント）

参加者数 3月27日 [14名（加盟校11名、非加盟校3名）]、3月28日 [15名（加盟校15名）]、
5月31日 [20名（加盟校19名、非加盟校1名）]

[参考]2018年度実績 3月22日（11名）、3月29日（13名）、5月22日（8名）

(2) アサーション（自己表現）～多様な相手の立場を踏まえ、自分の考えもきちんと伝える～

日時 2019年6月14日（金）9:30～17:00

対象 全教職員

講師 安発 早代子 氏（前田ビジネスコンサルティング）

参加者数 32名（加盟校27名、非加盟校5名）

(3) 問題解決力向上

日 時 2019年8月2日(金) 9:30~17:00
対象(目安) 勤続3年以上(対象以外の方でも参加可能)
講 師 前田 真志 氏(立命館大学 人事部人事課 課長)
参加者数 21名(加盟校15名、非加盟校6名)

(4) リーダーシップと職場活性化

日 時 2019年8月28日(水) 9:30~17:00
対象(目安) 勤続10年以上(対象以外の方でも参加可能)
講 師 長田 勝 氏(立命館大学 研究部研究企画課 課長)
参加者数 23名(加盟校15名、非加盟校8名)

(5) 学生支援の基礎知識

日 時 2019年9月20日(金) 13:00~17:00
対 象 全職員
講 師 太田 博之 氏(同志社大学 京田辺校地学生支援課 課長)
参加者数 35名(加盟校29名、非加盟校6名)

(6) 教育支援の基礎知識 事務職員による正課外での学習活動支援~ラーニングコモンズでできること~

日 時 2019年11月21日(木) 14:00~17:00
対 象 全職員
講 師 松井 きょう子 氏(京都外国語大学 ランゲージセンター)
参加者数 21名(加盟校16名、非加盟校5名)

(7) IR研修「超入門編」

日 時 2019年12月11日(水) 13:00~17:00
対 象 全職員
講 師 白藤 康成 氏(大阪人間科学大学 入試広報センター 主任)
参加者数 30名(加盟校29名、非加盟校1名)

<予定《2020年度事業分》>

(8) ビジネスマナー

【新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて開催中止を決定(2020年3月4日付決定)】

日 時 2020年3月18日(水)、3月19日(木) 10:00~17:30
対 象 全職員
講 師 北村 かおり 氏(株式会社ウィズネス 教育コンサルタント)
申込締切 3月10日(火)

◆SDゼミナール

受講者数 17名(加盟校:9校13名、非加盟校4校4名)
※2018年度実績 16名(加盟校:9校14名、非加盟校:1校1名、
大学コンソーシアム京都1名)
第1回 2019年6月1日(土)「アカデミック・ライティングの基礎」
講 師 坂本 尚志 氏(京都薬科大学 一般教育分野 准教授)
第2回 2019年6月8日(土)「大学の歴史と制度」
講 師 江原 武一 氏(京都大学 名誉教授)
第3回 2019年6月15日(土)「大学と高等教育政策」
講 師 松坂 浩史 氏(文部科学省 高等教育局 私学部私学行政課 課長、
前 文化庁 地域文化創生本部 事務局長)
第4回 2018年6月22日(土)「アカデミック・リテラシーと修了レポート」
講 師 村山 孝道 氏(京都文教大学 学長企画部 教学企画課 課長)

- 第5回 2019年6月29日(土)「大学と高大連携・高大接続」
 講師 荒瀬 克己氏(大谷大学 文学部 教授)
- 第6回 2019年7月6日(土)「大学の戦略とリーダーシップ」
 講師 吉武 博通^{ひろみち}氏(首都大学東京 理事、筑波大学 名誉教授)
- 第7回 2019年7月13日(土)「大学と社会」
 講師 深尾 昌峰^{まさたか}氏(龍谷大学 政策学部 教授)
- 第8回 2019年7月20日(土)「大学教育の質保証に向けた教学マネジメント」
 講師 加藤 毅^{たけし}氏(筑波大学 大学研究センター准教授)
- 受講生公開プレゼンテーション 2019年9月7日(土)
 修了レポート提出締切日 2019年10月7日(月)

※2018年度修了生フォローアップ研修 2019年6月1日(土)
 講師 田口 真奈氏(京都大学高等教育研究開発推進センター)
 参加者数 13名(2018年度修了生数 16名)

◆第17回SDフォーラム

日時 2019年10月19日(土)
 場所 キャンパスプラザ京都
 全体テーマ 「2040年の大学のカタチ、職員のカタチ」
 参加者数 131名(加盟校75名、非加盟校56名)

基調講演

テーマ 「未知の問題を発見し、未知の解決法を自ら創造する力を涵養する人と組織を目指して」
 講師 佐藤 法仁氏(岡山大学 副理事(企画・評価・総務担当)・URA
 /内閣府上席科学技術政策フェロー)

分科会

第1分科会

テーマ 「AI時代の大学のカタチ」
 講師 船戸 高樹氏(山梨学院大学 学修教育開発センター顧問)

第2分科会

テーマ 「RPAとAIを活用した業務構造改革のカタチ」
 講師 伊藤 達哉氏(早稲田大学 情報企画部事務部長)

第3分科会

テーマ 「国際化のカタチ」
 講師 米澤 彰純氏(国立大学法人東北大学 教授 博士(教育学)
 国際戦略室副室長/総長特別補佐(国際戦略担当))

第4分科会

テーマ 「教職協働のカタチ」
 講師 山本 啓一氏(北陸大学 経済経営学部教授・学部長)
 江口 美保氏(北陸大学 教務課課長)

第5分科会

テーマ 「イノベーションと大学経営のカタチ」
 講師 飯吉 透氏(京都大学 理事補/高等教育研究開発推進センター長 教授)

【実施スケジュール（主要事項）】

- 3月27日（水） SD 共同研修プログラム「ビジネスマナー」
- 3月28日（木） SD 共同研修プログラム「ビジネスマナー」
- 5月16日（木） 第1回 SD 研修委員会
- 5月31日（金） SD 共同研修プログラム「ビジネスマナー」
- 6月1日（土） SD ゼミナール（第1回）「アカデミック・ライティングの基礎」
2018年度 SD ゼミナール修了生フォローアップ研修
- 6月8日（土） SD ゼミナール（第2回）「大学の歴史と制度」
- 6月14日（金） SD 共同研修プログラム「アサーション（自己表現）」
- 6月15日（土） SD ゼミナール（第3回）「大学と高等教育政策」
- 6月22日（土） SD ゼミナール（第4回）「アカデミック・リテラシーと修了レポート」
- 6月29日（土） SD ゼミナール（第5回）「大学と高大連携・高大接続」
- 7月5日（金） 第2回 SD 研修委員会
- 7月6日（土） SD ゼミナール（第6回）「大学の戦略とリーダーシップ」
- 7月13日（土） SD ゼミナール（第7回）「大学と社会」
- 7月20日（土） SD ゼミナール（第8回）「大学教育の質保証に向けた教学マネジメント」
- 8月2日（金） SD 共同研修プログラム「問題解決力向上」
- 8月28日（水） SD 共同研修プログラム「リーダーシップと職場活性化」
- 9月7日（土） SD ゼミナール受講生公開プレゼンテーション
- 9月20日（金） SD 共同研修プログラム「学生支援の基礎知識」
- 9月24日（火） 第3回 SD 研修委員会
- 10月7日（月） SD ゼミナール修了レポート提出締切
- 10月19日（土） 第17回 SD フォーラム
- 11月21日（木） SD 共同研修プログラム「教育支援の基礎知識」
- 11月26日（火） 第4回 SD 研修委員会
- 12月11日（水） SD 共同研修プログラム「IR 研修」
- 2020年2月21日（金） 第5回 SD 研修委員会
- 3月18日（水） SD 共同研修プログラム「ビジネスマナー」
- 3月19日（木） SD 共同研修プログラム「ビジネスマナー」

(3) 京都高大連携研究協議会事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

高大連携事業は、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、京都商工会議所及び当財団の連携によって「京都高大連携研究協議会」を組織し、2003年度から取り組んでいる。

現在、国の「高大接続システム改革」の展開がなされていることから、その動向を十分に踏まえながら、各種事業の展開を検討することとする。

◆高大連携教育フォーラム

高校・大学間の連携・接続教育問題における国内最新動向の情報共有、事例研究や京都における取り組みの情報発信に一定の評価を得ており、毎年 200 名前後の参加者を得ている。「高大接続改革」の動向を見据え、高等学校、大学の双方の視点を摺り合わせながらテーマを検討するとともに分科会構成を再度検討し、高等学校、大学関係者が相集い、交流できる企画となるよう検討する。

◆高大社連携フューチャーセッション

高校生・大学生・社会人といった世代、学校間を越えて交流する。毎回テーマを設定し、そのテーマについて未来志向で対話する。京都府北部地域、京都市内地域ともに多くの高校生、大学生の参加が得られるよう、高等学校関係者と連携を取りながら、企画を検討する。

◆京都高校教員交流会

公立・私立を越えて、学校運営・授業運営上の悩みを共有し解決のヒントを探り合ったり、他校の取り組みを参考にし合ったり、授業改善に向け切磋琢磨するなど、高校教員同士が交流する機会を提供する。

今年度は安定的実施に向け、2018年度参加者のニーズも踏まえながら企画していくとともに、多方面へ広報を行う。

<実績>

◆高大社連携フューチャーセッション

日時・場所 京都市内 : 2019年9月22日(日) 11:00~16:00 キャンパスプラザ京都
京都府北部 : 2019年9月29日(日) 11:00~16:00 福知山公立大学

テーマ 「これから社会で必要とされる仕事とは？」

講師 京都市内 : 今井 紀明 氏 (認定 NPO 法人D×P 理事長)

京都府北部 : 田村 篤史 氏 (株式会社ツナグム代表取締役)

コーディネーター 京都市内 : 鮫島 輝美 氏 (京都光華女子大学 健康科学部 講師)

京都府北部 : 杉岡 秀紀 氏 (福知山公立大学 地域経営学部 准教授)

参加者数 京都市内 : 高校生 15 名、大学生 11 名

京都府北部 : 高校生 23 名、大学生 31 名

(昨年度実績 京都市内 : 高校生 11 名、大学生 28 名 ※京都府北部は不開催)

◆第 17 回高大連携教育フォーラム

日時 2019年12月7日(土) 10:00~18:45

場所 キャンパスプラザ京都

テーマ 「教育の接続」としての入試改革
～高校までの資質・能力の育成を大学でどう評価するか～

参加者数 223名

基調講演 1

講師 白井 俊 氏 (独立行政法人 大学入試センター 兼 審議役)

テーマ 「高大接続改革を捉え直す～コンピテンシーの視点から～」

基調講演 2

講師 西郡 大 氏 (佐賀大学 教授/アドミッションセンター長)

テーマ 「主体性等評価にどう向き合うか～高校から大学への教育接続を意識して～」

パネル・フロアディスカッション

テーマ 「高校までの資質・能力の育成を大学でどう評価するか」

パネリスト 白井 俊 氏 (独立行政法人 大学入試センター 兼 審議役)

西郡 大 氏 (佐賀大学 教授/アドミッションセンター長)

森口 安紀 氏 (京都市立塔南高等学校 教頭)

大西 俊弘 氏 (龍谷大学 理工学部 教授)

コーディネーター 鮫島 輝美 氏 (京都光華女子大学 健康科学部 講師)

分科会

全体テーマ 『学びの接続』を考えるⅡ

第1分科会 (国語) : 京都市教育委員会

「高大接続改革を拓く国語の可能性～大学入学共通テストと新学習指導要領から考える」

第2分科会 (地歴・公民) : 京都市教育委員会

「主体的・対話的で深い学びを通じ育成する資質・能力～大学での学びに繋がる力とは～」

第3分科会 (数学) : 京都府私立中学高等学校連合会

「スムーズな高大連携、数学を楽しみ、学び続ける人を育てるとりくみを交流する」

第4分科会 (理科) : 京都市教育委員会

「高等学校理科における主体性とは～育成を目指す資質・能力と大学入試での評価～」

第5分科会 (英語) : 京都府教育委員会

「豊かな表現力につながる思考力の涵養を目指して」

特別分科会① (アドミッション専門人材開発)

「第3回アドミッション・スペシャリスト能力開発研修会 (京都会場)」

特別分科会② (高大社連携キャリア教育)

「2019年度高大社連携フューチャーセッション公開振り返り会」

情報交換会

◆高校教員交流会

<実績>

第3回

日時 2019年9月12日(木) 18:00～20:00

場所 キャンパスプラザ京都

テーマ 「大学入学者選抜改革」

講師 大西 俊弘 氏 (龍谷大学理工学部教授)

参加者数 高校教員5名、教育委員会2名、大学教員4名 計11名

第4回

日時 2019年11月7日(木) 18:00～20:00

場所 キャンパスプラザ京都 2階第2会議室

テーマ 「理数探求の開講を想定した探求テーマ候補の交換会」
 講師 塩瀬 隆之 氏（京都大学総合博物館准教授）
 長瀬 睦裕 氏（京都府立嵯峨野高等学校教諭）
 参加者数 高校教員 16 名、教育委員会 1 名、大学生 1 名、一般企業 1 名 計 18 名

第 5 回

日時 2020 年 2 月 1 日（土） 13:30～16:30
 場所 京都経済センター 6 階 会議室 6-B
 テーマ 「課題発見スキルを身に付ける授業体験および意見交換の集い」
 講師 佐藤 賢一 氏（京都産業大学生命科学部教授）
 参加者数 高校教員 23 名、大学教員 2 名 計 25 名

【実施スケジュール（主要事項）】

5 月 10 日（金） 第 1 回高大連携推進室会議
 5 月 16 日（木） 第 1 回拡大高大連携推進室会議
 6 月 11 日（火） 第 2 回高大連携推進室会議
 6 月 28 日（金） 第 3 回高大連携推進室会議
 7 月 10 日（水） 第 1 回京都高大連携研究協議会運営委員会
 第 1 回京都高大連携研究協議会役員会（書面会議）
 8 月 22 日（木） 第 4 回高大連携推進室会議
 8 月 27 日（火） 第 5 回高大連携推進室会議（メールによる審議）
 9 月 12 日（木） 第 3 回京都高校教員交流会
 9 月 22 日（日） 高大社連携フューチャーセッション（京都市内）
 9 月 29 日（日） 高大社連携フューチャーセッション（京都府北部）
 11 月 7 日（木） 第 4 回京都高校教員交流会
 11 月 28 日（木） 第 6 回高大連携推進室会議
 12 月 7 日（土） 第 17 回高大連携教育フォーラム
 2020 年 1 月 28 日（金） 高大連携推進室会議 懇談会
 1 月 30 日（木） 第 2 回拡大高大連携推進室会議
 2 月 1 日（土） 第 5 回京都高校教員交流会
 2 月 11 日（火） 第 7 回高大連携推進室会議
 3 月 13 日（金） 第 2 回京都高大連携研究協議会 運営委員会
 第 2 回京都高大連携研究協議会役員会（書面会議）
 3 月 13 日（金） 第 3 回拡大高大連携推進室会議

各種委員会等の開催について

(1) FD事業

① FD フォーラム企画検討委員会

- | | |
|---------------|--|
| 7月4日(木) | 第1回FDフォーラム企画検討委員会 |
| 7月24日(水) | 全体テーマ・シンポジウムに関する意見交換会 |
| 8月6日(火) | 第2回FDフォーラム企画検討委員会 |
| 9月10日(火) | 第3回FDフォーラム企画検討委員会 |
| 10月28日(月) | 第4回FDフォーラム企画検討委員会
+会場下見(龍谷大学 深草キャンパス) |
| 2020年1月28日(火) | 第5回FDフォーラム企画検討委員会 |
| 2月19日(水) | 第6回FDフォーラム企画検討委員会(メールによる審議) |
| 3月 | 第7回FDフォーラム企画検討委員会 |

② FD 企画研究委員会

- | | |
|---------------|--------------|
| 5月22日(水) | 第1回FD企画研究委員会 |
| 6月25日(火) | 第2回FD企画研究委員会 |
| 9月17日(火) | 第3回FD企画研究委員会 |
| 12月17日(火) | 第4回FD企画研究委員会 |
| 2020年3月17日(火) | 第5回FD企画研究委員会 |

(2) SD事業

③ SD 研修委員会

- | | |
|---------------|------------|
| 5月16日(木) | 第1回SD研修委員会 |
| 7月5日(金) | 第2回SD研修委員会 |
| 9月24日(火) | 第3回SD研修委員会 |
| 11月26日(火) | 第4回SD研修委員会 |
| 2020年2月21日(木) | 第5回SD研修委員会 |

(3) 京都高大連携研究協議会事業

以下の④・⑤の会議は、大学コンソーシアム京都に設置された専門委員会とは異なり、京都高大連携研究協議会に設置された委員会である。

④ 京都高大連携研究協議会 役員会

- | | |
|---------------|--------------|
| 7月10日(水) | 第1回役員会(書面会議) |
| 2020年3月13日(金) | 第2回役員会(書面会議) |

⑤ 京都高大連携研究協議会 運営委員会

7月10日(水) 第1回運営委員会

2020年3月13日(金) 第2回運営委員会

⑥ 高大連携推進室会議

5月10日(金) 第1回高大連携推進室会議

5月16日(木) 第1回拡大高大連携推進室会議

6月11日(火) 第2回高大連携推進室会議

6月28日(金) 第3回高大連携推進室会議

8月22日(木) 第4回高大連携推進室会議

8月27日(火) 第5回高大連携推進室会議(メールによる審議)

11月28日(木) 第6回高大連携推進室会議

2020年1月28日(火) 高大連携推進室会議 懇談会

1月30日(木) 第2回拡大高大連携推進室会議

3月13日(金) 第2回京都高大連携研究協議会 運営委員会

第2回京都高大連携研究協議会役員会(書面会議)

3月13日(金) 第3回拡大高大連携推進室会議

■事業進捗■

(1) 京都学生祭典事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

京都学生祭典は、「大学のまち京都」を盛り上げるべく 2003 年から開催され、2019 年度で第 17 回を迎える。学生で組織する京都学生祭典実行委員会は、10 月に主催する祭典当日の企画・運営だけでなく、近年では、1 年間を通じた地域交流を深めるため、精力的に活動を行っている。

2019 年度は、活動期間中の 2019 年 5 月に新元号となる。時代の変化の中には明るい話題だけでなく、将来に不安を感じる人もいるなか、「京都学生祭典だからこそできることは何か」と学生自ら問いに向き合い、学生の力を結集させたお祭りをつくり、京都から日本を盛りあげていくことを目指す。

事務局の一翼を担う当事業部では、祭典に向けての支援に加え、1 年間の活動を学生の成長の機会として捉え、年間を通じた支援体制の整備を行う。

◆第 17 回京都学生祭典

大学の枠を越えた学生の力を結集させ、「大学のまち・学生のまち」京都の魅力を社会に発信し、京都の地域活性化に貢献するとともに、その活動を通して学生が共に成長していくことを目的に、「京都学生祭典」を京都学生祭典組織委員会の一員として共催する。

《開催日時》2019 年 10 月 13 日（日）11 時 00 分～19 時 00 分

《会場》平安神宮前・岡崎プロムナード（京都市左京区）

《コンセプト》「京都から挑み、ともに新時代へ。」

《企画趣旨》第 17 回京都学生祭典本祭の開催時には日本の元号が変わり、新時代を迎えている。これから新しい時代をつくり上げていく学生自ら来場者の皆さまに多種多様な分野で学生が持つ新時代を切り開く無限の可能性・将来性に希望を感じていただくことができる本祭を創り上げることを目指す。さらに、過去 16 年間の京都学生祭典の伝統・魅力を大切にしながら第 17 回を機会に発展・進化し続け、より京都のまちに根付き、愛される祭りとなることを目指す。

《企画内容》①京炎 そでふれ！全国おどりコンテスト ②学生パフォーマンス企画
③京いこい企画 ④アミューズメント企画 ⑤京炎文化企画等

【実施スケジュール（主要事項）】（3 月 5 日時点）

4 月 17 日（水）	第 17 回京都学生祭典事務局会議（2019 年第 2 回）
5 月 15 日（水）	第 17 回京都学生祭典企画検討委員会（2019 年第 3 回）
6 月 19 日（水）	第 17 回京都学生祭典事務局会（2019 年第 3 回）
6 月 22 日・23 日	第 17 回京都学生祭典プレイベント「#ファインダー越しの私の宮津」
7 月 6 日（土）	第 17 回京都学生祭典プレイベント「タナバタフェス」
7 月 10 日（水）	第 17 回京都学生祭典企画検討委員会（2019 年第 4 回）
7 月 22 日（月）	第 17 回京都学生祭典 企業交流会

8月21日(水)	第17回京都学生祭典事務局会(2019年第4回)
8月27日(火)	第17回京都学生祭典 打ち水企画@二条城
8月29日(木)	第17回京都学生祭典 打ち水企画@平安神宮前
9月8日(日)	第17回京都学生祭典 プレイイベント「～みんなわくわく!ファミリーフェスタ～」
9月10日(火)	第17回京都学生祭典企画検討委員会(2019年第5回)
9月17日(火)	第17回京都学生祭典組織委員会(2019年第2回)
10月13日(日)	第17回京都学生祭典(平安神宮前・岡崎プロムナード一帯)
10月30日(水)	第17回京都学生祭典事務局会(2019年第5回)
11月20日(水)	第17回京都学生祭典企画検討委員会(2019年第6回)
11月28日(水)	第17回京都学生祭典組織委員会(2019年第3回)
11月28日(木)	第17回京都学生祭典 成果報告会&感謝祭
12月18日(水)	第18回京都学生祭典事務局会(2019年第6回)
1月14日(火)	第18回京都学生祭典企画検討委員会(2020年第1回)
2月13日(木)	第18回京都学生祭典事務局会(2020年第1回)
3月11日(水)	第18回京都学生祭典企画検討委員会(2020年第2回)⇒中止、メールでの書面会議に変更
3月13日(金)	第18回京都学生祭典組織委員会(2020年第1回)⇒参加可能な一部の実行委員は、web会議システムを通して参加

◆第17回京都学生祭典実行委員会研修実施一覧(3月5日時点)

開催日	テーマ	対象	講師/所属	参加者数
12月15日(土)	「伝える力」研修① 「京都学生祭典のつくりかたと、つたえかた」	全員	株式会社電通 藤田 卓也氏(第5回実行委員長)	17名
1月22日(火)	マネジメント研修	全員	企画検討委員長 木村 光博氏	24名
2月21日(木)	実行委員基礎研修	全員	学生支援事業部	71名
2月19日(火) ～20日(水)	「京都でまつりをつなぐ」	全員 ※他団体との合同企画		(19日) 23名 (20日) 20名
3月8日(金)	「伝える力」研修② 「伝わりやすい話し方・態度を知ろう」	全員	一般社団法人 京都経済同友会 高橋大樹氏	40名
3月23日(土)	そでふれ研修	おどり手	園部佑樹氏 (京炎 そでふれ!創設メンバー)	34名
5月16日(木)	「おもてなし力」研修① 「笑顔とおもてなしの	全員	全日本空輸株式会社(ANA)	78名

	繋がり」			
6月7日(金)	「おもてなし力」研修② 「京都のおもてなしを 学生祭典に取り入れよ う」	全員	株式会社大丸松坂屋百貨店 大丸 京都店 営業推進部スタッフ KKP 担当 谷 京子氏	73名
7月3日(水)	雑踏警備業務研修	警備部	株式会社コトナ 宇田 幸樹氏	29名
8月20(火)	雑踏警備業務研修	警備部	株式会社コトナ 宇田 幸樹氏	23名
8月9日(金)～ 10日(土)	実行委員研修	全員	実行委員内	110名
8月27日(火)	雑踏警備業務研修	警備部	株式会社コトナ 宇田 幸樹氏	28名
9月3日(火)	平安神宮研修	全員	実行委員内	99名

◆第17回京都学生祭典実行委員会活動内容一覧(3月5日時点)

開催日	活動内容	担当部	参加者数
12月21日(金)	京都市長訪問	3役	10名
12月28日(金)	FM京都(αステーション)	実行委員長、広報部長	
1月6日(日)	京都学生祭典初詣	全員	31名
1月9日(水)	京都産業大学学長訪問	実行委員長、営業部長、広報部長	
1月12日(土)	安寧もちつき大会	担当部署	28名
5月26日(日)	京都市主催～地下鉄の日 記念イベント ～「リニア・北陸新幹線京都誘致」& “サブウェイ・パフォーマー”フェスティバル	実行委員長	1名
7月22日(月)～ 23日(火)	エコ屋台村	企画運営部	13名
7月24日(水)	和装で納涼打ち水大作戦	3役+有志実行委員	10名
7月28日(日)	左京区民まつり	広報部+有志	12名
7月28日(日)	安寧夏祭り	年間交流部	37名
8月3日(土)	エコサマーフェスタ	年間交流部	45名
8月5日(月)	大映商店街夏祭り	企画運営部	52名
8月18日(日)	三条夏祭り	年間交流部	37名
9月3日(火)	成功祈願@平安神宮	全実行委員	99名
9月14日(土)	紫竹夏祭り	年間交流部/企画運営部	61名
10月11日(金)	KBS ラジオ「ネイビーズアフロの聴けばミヤコ!」	三役/企画運営部	2名

11月16日(土)	岡崎ときあかり	全員	20名
12月18日(水)	市長表敬訪問	第17回執行部(一部)および第18回四役	7名
1月11日(土)	第7回ものづくりフェア(高の原イオン) ※ 京都府庁による紹介、主催:木津川市観光商工課、木津川市商工会)	第17回および第18回実行委員	15名
1月11日(土)	安寧餅つき大会	第18回実行委員	25名
1月13日(月)	令和2年京都市はたちを祝う記念式典	第18回実行委員	21名
1月25日(土)	映画『嘘八百』ヒット祈願プロモーション	第18回実行委員	8名
2月11日(火)	KYOTO 地球環境の殿堂:おどり披露	第18回実行委員	20名

◆新実行委員説明会

開催日	場所	時間	人数
4月14日(日)	キャンパスプラザ京都	18:30~	17名
4月17日(水)	キャンパスプラザ京都	18:45~	9名
4月21日(日)	キャンパスプラザ京都	10:00~	14名
4月24日(水)	キャンパスプラザ京都	18:45~	16名
4月28日(日)	キャンパスプラザ京都	10:00~	18名
5月8日(水)	キャンパスプラザ京都	18:45~	13名
5月12日(日)	キャンパスプラザ京都	10:00~	12名
5月15日(水)	キャンパスプラザ京都	18:45~	8名
5月19日(日)	キャンパスプラザ京都	10:00~	8名
5月22日(水)	キャンパスプラザ京都	18:45~	8名
5月26日(日)	キャンパスプラザ京都	10:00~	9名
5月29日(水)	キャンパスプラザ京都	18:30~	7名
6月9日(日)	キャンパスプラザ京都	18:30~	13名
6月16日(日)	キャンパスプラザ京都	18:30~	4名
6月19日(水)	キャンパスプラザ京都	18:30~	4名

◆第18回実行委員構成人数(3月20日時点)

構成人数 134名/24大学0大学院0短期大学0専修学校(昨年同月127名)

① 加盟校 計134名

加盟校名	本年度	前年度	加盟校名	本年度	前年度
京都大学	8	6	京都先端科学大学	9	3
京都教育大学	0	0	京都造形芸術大学	0	0
京都工芸繊維大学	2	0	京都橘大学	3	1
京都市立芸術大学	0	0	京都ノートルダム女子大学	2	0

京都府立大学	1	0	京都美術工芸大学	2	1
京都府立医科大学	0	0	京都文教大学	7	3
福知山公立大学	1	0	京都文教短期大学	0	0
池坊短期大学	0	0	京都薬科大学	0	2
大谷大学	1	2	嵯峨美術大学	0	0
大谷大学短期大学部	0	0	嵯峨美術短期大学	0	0
京都医療科学大学	2	0	種智院大学	2	0
京都外国語大学	3	1	成安造形大学	0	0
京都外国語短期大学	0	0	同志社大学	4	3
京都華頂大学	3	7	同志社女子大学	5	10
華頂短期大学	0	0	花園大学	0	0
京都看護大学	0	0	佛教大学	4	1
京都経済短期大学	0	0	平安女学院大学	10	13
京都光華女子大学	7	4	平安女学院大学短期大学部	0	0
京都光華女子大学短期大学部	0	0	明治国際医療大学	0	0
嵯峨美術大学	0	0	立命館大学	17	16
嵯峨美術短期大学	0	0	龍谷大学	1	1
京都産業大学	10	9	龍谷大学短期大学部	0	0
京都女子大学	29	43	大阪医科大学	0	0
京都精華大学	1	1	京都情報大学院大学	0	0
京都西山短期大学	0	0	放送大学・京都学習センター	0	0

② 財団非加盟校 0名※

③ 各部署人数

部署名	本 年 昨年度 度	部署名	本年度	昨年度	
四役	4	3	営業部	9	12
企画運営部	45	44	広報部	15	8
警備部	18	11	総務部※	15	11
おどり普及部	20	24			
年間交流部	8	14			

※うちプロジェクトメンバー（複数部署による共同事業のとりまとめ役）2名含む

◆第18回おどり手構成人数（3月5日時点）

658名／26大学0大学院0短期大学0専修学校（前年同時期：586名）

①財団加盟校 計655名

（単位：名）

加盟校名	本年度	昨年度	加盟校名	本年度	昨年度
京都大学	28	26	京都精華大学	2	6

京都教育大学	2	0	京都西山短期大学	0	0
京都工芸繊維大学	1	3	京都造形芸術大学	0	0
京都市立芸術大学	0	0	京都橘大学	48	56
京都府立大学	8	29	京都ノートルダム女子大学	30	データなし
京都府立医科大学	1	0	京都美術工芸大学	0	0
福知山公立大学	0	0	京都文教大学	34	21
池坊短期大学	0	0	京都文教短期大学	0	12
大谷大学	7	1	京都薬科大学	19	20
大谷大学短期大学部	0	0	種智院大学	0	0
京都医療科学大学	0	0	成安造形大学	0	0
京都外国語大学	2	0	同志社大学	25	52
京都外国語短期大学	0	0	同志社女子大学	57	22
京都先端科学大学	0	0	花園大学	0	0
京都華頂大学	0	0	佛教大学	2	0
華頂短期大学	1	0	平安女学院大学	0	0
京都看護大学	0	0	平安女学院大学短期大学部	0	0
京都経済短期大学	0	0	明治国際医療大学	0	0
京都光華女子大学	20	28	立命館大学	51	68
京都光華女子大学短期大学部	0	0	龍谷大学	65	データなし
嵯峨美術大学	0	0	龍谷大学短期大学部	0	0
嵯峨美術大学短期大学部	0	0	大阪医科大学	0	0
京都産業大学	163	119	京都情報大学院大学	0	0
京都女子大学	89	119	放送大学・京都学習センター	0	0

②財団非加盟校 3 名（大阪大学 1 名、関西大学 1 名、奈良女子大学 1 名）

1. 本祭

(1) 第 17 回京都学生祭典

コンセプト「京都から挑み、ともに新時代へ。」

※第 17 回京都学生祭典のみテーマではなく「コンセプト」として設定している。

- ・10/13（日）11：00～19：00@平安神宮前・岡崎プロムナード一帯 来場者：112,000 名

(2) 第 18 回京都学生祭典

テーマ「夢、縁（ゆか）る。」

- ・10/11（日）11：00～19：00@平安神宮前・岡崎プロムナード一帯

2. プレイベント

(1) 第 17 回京都学生祭典

- ・6 月下旬から 9 月上旬にかけて計 3 回開催
- ・1 回目：6 月 22 日（土）～6 月 23 日（日）@京都府立マリーニピア（参加者大学生 34 名、高校生 4 名、実行委員 17 名）
- ・2 回目：7 月 6 日（土）@古川町商店街（参加者：1,896 名）

- ・3回目：9月8日（日）@イオンモール（イオンモール KYOTO、五条で同時開催、参加者：8,009名）

(2) 第18回京都学生祭典

- ・4/18 合同新歓祭（仮称）@梅小路公園広場

当初、開催予定としていましたが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、開催困難となったため、形態を変更し、「web版春の合同新歓祭」として、webにて開催し、各参加団体・サークルの新入生向けのPR動画を集約、発信。

- ・8月末もしくは9月上旬 単発的なイベントを木～日の4日間で複数ヶ所にて同時開催予定（イベント内容、場所等未定）

3. 広報関係

(1) 第17回京都学生祭典

- ・祭典に初めて来場する割合を50%目標にする。学生の来場者の割合を15%にする。
- ・5/12 募集、エントリー数：46、提出作品数：27、5/17付2019年第3回企画検討委員会にてメインビジュアル決定
- ・京都新聞特集記事の掲載する方向。9月4日付京都新聞にて記事掲載有。
- ・新入生歓迎期の大学コンソーシアム京都加盟校への学内における広報活動の協力依頼開始。
- ・京都学生祭典ホームページ案件について、4点課題あり。

1) 広報部の適正人員数の検討

- ・特定の広報部員に業務が集中したことを踏まえ、広報部員の適正人員数について継続検討。第18回では、他部署からの異動を含めて調整中。

2) 京都学生祭典ホームページの改修検討

⇒8/9改修完了・公開済、9/19本祭概要および公式パンフレットデータ掲載済。3/13に全面リニューアル・公開済。

【当面のスケジュール】

12/27：サイトマップ案更新→委員会、職員が確認

1/10：チェック戻し→サイトマップの確定、委員会が3/10オープン時に必要なページの原稿を集め始める

1/18：ミーティング（トップページの要素デザインのリクエスト）

1/28：デザイン初稿→実行委員会および職員が確認

1/29～1/31：デザインの初稿についてのミーティング

2/5：デザイン修正案→実行委員会および職員が確認

2/7：デザイン確定、実行委員会による原稿準備が完了

2/26：業者による構築完了→実行委員会、職員が確認

2/28～3/6：ページ点検およびフィードバック

3/9：オープン作業

3/10：ウェブサイトオープン

3) 広報部としてのweb広報に関わる年間スケジュール作成

- ・5/23（木）（株）上部と広報部が打ち合わせ実施、2018年度の引継ぎ資料を基に素案作成、今後広報部にて加筆修正の上、精緻化。2019年度に確認された課題は、第17回広報部長が

第 18 回広報部長に引継ぎ済。

4) CMS 操作可能な部員の増大化

- ・広報部内で対応中、現在発生しているホームページ内一部ページ不具合に関する対処方法については、広報部担当者 1 名に加え、広報部長、広報部副部長、副実行委員長（1 名）で共有済。2020 年 3 月の全面リニューアルに伴い、CMS も新規作成。2020 年 4 月以降はホームページ制作および保守依頼先の（株）ディレクターズ・ユニブに実行委員対象の操作説明会を実施予定。

(2) 第 18 回京都学生祭典

1) 広報方針

- ・オリジナル創作おどり「京炎 そでふれ！」を主軸に据えた SNS 中心の広報活動展開
- ・広報制作物の仕様の一部変更（うちわ：再生プラスチック製⇒紙製、クリファイル：プラスチック製⇒紙製もしくは不織布バックを検討中）

2) 本機校正を伴う広報物の制作・編集業務の包括委託契約

- ・2/27 付で株式会社アール工芸印刷社に決定、3/2 キックオフミーティング実施。以降は実行委員主導で定期的に打ち合わせを実施していく方針を確認。

4. 営業関係

(1) 第 17 回京都学生祭典

- ・企業交流会を実施済（7 月 22 日（月）@みやこめっせ）14 社 21 名参加（実行委員：34 名参加）
- ・協賛企業獲得のため営業活動
- ・個人サポーター募集終了、486 組、870,859 円獲得 ※獲得額：目標対比約 124.4%
- ・成果報告会および感謝祭

11/28 開催、成果報告会（一般：25 団体、38 名）、感謝祭（一般：24 団体、36 名）

(2) 第 18 回京都学生祭典

1) 方針

- ・「KYO-SENSE パートナー」枠の名称変更
※(株)GS ユアサ様の意向を確認しつつ調整中。
- ・本祭参加者募集チラシへのクレジット掲載対象の変更（4 月 20 日までに振込が完了した企業 全て⇒オフィシャルパートナー以上（100 万円の協賛額以上）のみ掲載）
- ・本祭事前広報物の変更：公式パンフレットの納期を 9 月初旬から 10 月初旬に変更。また本祭案内リーフレットを新規制作し、20 万以上の協賛企業のクレジットを掲載。
- ・本祭ステージ転換時の協賛企業ロゴないしクレジット表示
- ・協賛枠：10 万の新設
- ・場所協賛枠の新設

2) 協賛活動

3/12（木）にローム（株）訪問予定 ※新型コロナウイルス感染拡大を受け、訪問中止。メール等の代替コミュニケーションツールを活用し打診、協賛意向確認、3/25 入金確認済。

5. 京炎みこし担ぎ手、短期ボランティア数

(1) 第 17 回京都学生祭典

- ・ 5/25 京炎みこし保存会（以下、「保存会」）：野中氏・小嶋氏と打ち合わせ実施、京炎みこし実施に関わるガイドライン（内規としての位置づけ）を策定すべく、6 月末第 1 校提出、その後保存会による指摘を踏まえ 7/21 に第 2 校提出済。
- ・ 実行委員は、保存会長とガイドラインを調整していたが、同会長が保存会内で協議せず独断で実行員に話していたことが発覚。第 2 校の内容について保存会と 8/13 に協議、ガイドラインに掲載する必要人数は「目安」として捉え、毎回の確保人数、練習の開催頻度、担ぎ手の参加状況を踏まえ、毎年度本祭時に実施可否および実施時における「技」の程度を協議することを確認。

(2) 第 18 回京都学生祭典

- ・ 2/12 京炎みこし保存会と打ち合わせ実施。同会の方針として「実行委員会の方針を最大限尊重する」「適宜実行委員による相談に対してアドバイスする」ことが示された。

6. 公募関係

(1) 第 17 回京都学生祭典

- ・ 新規実行委員募集等については上記のとおり説明会を実施

1) 本祭企画：6/1 より順次募集開始

- ※ 第 4 回企画検討委員会にて懸案事項に挙がった「Kyoto Student Mushic Award」企画においては、副実行委員長の山田氏が龍谷大学の学生部からサークル 4 団体の代表者の連絡を聞き現在出演交渉済。最終：バンド部門 14 団体（7/10 から 2 団体増加）、フリー部門 26 団体（7/10 から 9 団体増加）

(2) 第 18 回京都学生祭典

1) メインビジュアル

- ・ 1/8 募集開始、3/3 締切。エントリー：26 件、作品提出：11 件

- ※ 作品が未提出である、エントリー者（15 名）には、3/6（金）まで提出期限を延長した。

7. その他

(1) 第 17 回京都学生祭典

1) 広報物

- ① 特別協賛企業用団扇（40,000 枚）：7/22 再制作分団扇（4,000 枚）分納確認、ローム（株）、（株）GS ユアサ確認取得済、36,000 枚は 7/24 14 時安寧小学校に納品済
【配布状況：ローム様仕様：9/8 をもって配布完了、GS ユアサ様仕様：9/12 をもって配布完了】
- ② 協賛企業用団扇（5,000 枚）：7/22 再制作分団扇（2,000 枚）分納確認、ローム（株）、（株）GS ユアサ確認取得後、7/22 企業交流会にて配付済、3,000 枚は 7/24 14 時安寧小学校に納品済
【配布状況：9/7 をもって配布完了】
- ③ チラシ・ポスター（チラシ：150,000 部、ポスター：1,500 部）：8/27 校了、9/3 納品済
- ④ 公式パンフレット（10,000 部）：9/7 納品済、順次配布および掲出実施
- ⑤ 当日マップ（7,000 部）：10/12 納品済

- ⑥ 9/29 特集記事増刷：10,000部：10/1 納品済
- ⑦ 報告パンフレット（2,500部）：11/19 納品済
- 2) 出前教室、おどり披露事業展開に伴うガイドライン策定
 - ・8/27 ガイドライン完成、現在ホームページへのアップロード確認
- 3) 大学PRブース

出展：京都橘大（来場者：234名）、佛教大（来場者：194名）、立命館大（来場者：350名）、
京都産業大（来場者：約200名）、京都精華学（来場者：約200名）、コンソ①（京都学
生広報部：来場者約200名、京都国際学生映画祭：来場者314名）

（2）京都国際学生映画祭事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

京都国際学生映画祭は、学生の実行委員会が運営する日本最大規模の国際学生映画祭で、2002年（第5回）から財団が単独で主催している。2019年度においても、国内外を問わず、実行委員が広く学生作家の映像作品をコンペ形式で募集し、選考した作品を上映する第22回京都国際学生映画祭（2020年2月下旬開催予定）の企画や運営、PRを1年間担っていく。

京都国際学生映画祭は、文化芸術都市であり、「学生のまち」でもある京都で、学生クリエイターの発掘や情報発信、国際交流を深める上で開催する意義は大きい。しかしながら、その映画祭を支える実行委員の慢性的な人不足が続いており、実行委員の獲得が今後の活動に左右するため、2019年度も各大学での上映会や活動説明会を通して、新規実行委員の獲得をめざす。また、実行委員の成長を促すためのサイクルの構築といった支援体制についても検討する。

<実績>

【実施スケジュール（主要事項）】

3月6日（水）	2018年度 京都国際学生映画祭企画検討委員会（第4回）
2月1日（金）	第22回京都国際学生映画祭実行委員会発足
4月27日（土）	コンペ作品および新規実行員募集の案内・広報開始
5月3日（金）	公式webサイト本番リリース
5月9日（木）10時	第22回京都国際学生映画祭コンペティション作品募集PR開始
5月9日（木）10時～ 6月6日（木）16時	第22回京都国際学生映画祭コンペティション作品募集期間
6月6日（木）16時	第22回京都国際学生映画祭コンペティション作品募集締切
6月7日（金）19時	第1回研修会（株式会社ディレクターズ・ユニブ 板倉一成氏）
6月21日（金）	第22回京都国際学生映画祭実行委員会 三役が決定
7月3日（水）	第2回研修会（立命館大学 映像学部 教授 深沢伸行氏）
7月5日（金）19時～	第1回京都国際学生映画祭企画検討委員会
8月17日（土）	カモンネマ15招待上映（連携企画）
9月21日（土）、 22日（日）、29日（日）	翻訳ボランティア説明会

10月13日(日)	第17回京都学生祭典(ブース出展)
10月17日(木)	京都国際映画祭オープニング及びレセプション
10月19日(土)	京都国際映画祭招待上映(連携企画)
11月29日(金)	第2回京都国際学生映画祭企画検討委員会
12月14日(土)	京都国際学生映画祭プレイベント in マンガミュージアム
12月21日(土)	第3回研修会(京都文化博物館 森脇清隆氏)
2020年1月19日(日)	最終審査会
2020年2月7日(金)	第3回企画検討委員会
2020年2月21日(金) ~2月23日(日)	第22回京都国際学生映画祭 本祭
2020年3月25日(水)	第4回企画検討委員会 ⇒新型コロナウイルス感染拡大を受け、学生を同席させずに実施。

◆第22回実行委員構成人数<2019.12.11現在>

構成人数:19名 大学19 短期大学0 専修学校0 (前年度:24名 内非加盟校(関西学院大学2名))

① 加盟校 計17名

大学・短期大学名	本年度	前年度	大学・短期大学名	本年度	前年度
京都大学	1	3	京都女子大学	3	9
京都大学大学院		1	京都精華大学	1	
京都教育大学			京都西山短期大学		
京都工芸繊維大学			京都造形芸術大学		
京都工芸繊維大学大学院	2		京都橘大学		
京都市立芸術大学			京都ノートルダム女子大学		
京都府立大学		1	京都美術工芸大学		
京都府立医科大学			京都文教大学		
福知山公立大学			京都文教短期大学		
池坊短期大学			京都薬科大学		
大谷大学			種智院大学		
大谷大学短期大学部			成安造形大学		
京都医療科学大学			同志社大学	5	3
京都外国語大学		1	同志社女子大学		1
京都外国語短期大学			花園大学		
京都先端科学大学			佛教大学		
京都華頂大学			平安女学院大学		
華頂短期大学			平安女学院大学短期大学部		
京都看護大学			明治国際医療大学		
京都経済短期大学			立命館大学	4	2
京都光華女子大学			龍谷大学		

京都光華女子大学短期大学部			龍谷大学短期大学部		
嵯峨美術大学			大阪医科大学		
嵯峨美術大学短期大学部			京都情報大学院大学		
京都産業大学	1	1	放送大学・京都学習センター		

② 非加盟校：2名（大阪大学（1名）、滋賀県立大学（1名））

【特記事項】

進捗報告（第22回）

① 審査部門

【第22回京都国際学生映画祭入選作品】

No	原題（英題）	監督名(複数回答可)	尺	学校	所在国
1	PIGUA (TERROR)	Yonatan Shehoah	16	The Ma'aleh School of Television and Film	イスラエル
2	リベンジ！ (revenge！)	河谷 忍	74	京都造形芸術大学	日本
3	Gjeteren (The Shepherd)	Brwa Vahapour	17	The Norwegian Film School	ノルウェー
4	捨てられた種 (Abandoned Seed)	呂逸飛	5	上海交通大学	中国、日本
5	Sans Gravité (No Gravity)	Charline Parisot, Jérémy Cissé, Fioretta Caterina Cosmidis, Flore Allier-Estrada, Maud Lemaître- Blanchart, Ludovic Abraham	8	Supinfocom Rubika	フランス
6	Kippa (Kippah)	Lukas Nathrath	25	Hamburg Media School	ドイツ
7	Les Indomptés (Untamed)	François et Vincent Lluelles	25	ESRA	フランス
8	中村屋酒店の兄弟 (brother's)	白磯 大知	45	目白大学	日本
9	She-Pack	Fanny Ovesen	18	The Norwegian Film School	ノルウェー

10	APRES LA PLUIE (AFTER THE RAIN)	Valérian DESTERNE, Rebecca BLACK, Céline COLLIN, Juan Olarte, Juan Pablo DE LA ROSA ZALAMEA, Carlos Osmar SALAZAR TORNERO, Lucile PALOMINO	8	MOPA	フランス
11	阿鳳 (One Way Ticket)	LEUNG Wing Ho	28	Hong Kong Academy for Performing Arts	香港
12	羊と蜜柑と日曜日 (Just Between Us)	竹中 貞人	49	東京藝術大学大学院	日本
13	The Stained Club	Mélanie Lopez, Simon Boucly, Marie Ciesielski, Alice Jaunet, Chan Stéphanie Peang, Béatrice Viguié	7	Supinfocom Rubika	フランス
14	穿越愛情史 (Just in Time)	Colin Huang	29	Taipei National University of the Arts	台湾
15	TILL THE END OF THE WORLD	Florence Bouvy	27	The Netherlands Filmacademy	オランダ
16	ひとひら (HITOHIRA)	吉田 奈津美 町田 梨華	30	早稲田大学	日本

※色付きはアニメーション作品

- ・応募者数（確定）277 作品（国内:101 作品、海外：176 作品）
- ・9/19（木）二次審査会→入選作家の内定
- ・2020年1月19日（日）最終審査会の開催

第22回京都国際学生映画祭 各賞の受賞者について

<グランプリ>

『TILL THE END OF THE WORLD』 尺：27分 監督：Florence Bouvy

製作校：The Netherlands Filmacademy（オランダ）

<準グランプリ>

『She-Pack』 尺：18分 監督：Fanny Ovesen

製作校：The Norwegian Film School（ノルウェー）

<各最終審査員賞>

【大西礼芳賞】

『The Shepherd』 尺：17分 監督：Brwa Vahapour

製作校：The Norwegian Film School（ノルウェー）

【鈴木卓爾賞】

『ひとひら』 尺：30分 監督：吉田 奈津美、町田 梨華 製作校：早稲田大学（日本）

【瀬々敬久賞】

『No Gravity』 尺：8分 監督：Charline Parisot, Jérémy Cissé, Fioretta Caterina Cosmidis, FloreAllier-Estrada, Maud Lemaître-Blanchart, Ludovic Abraham

製作校：Supinfocom Rubika（フランス）

・最終審査員の内定

最終審査員	プロフィール
瀬々 敬久 氏	映画監督。京都大学文学部哲学科に在学中、自主制作映画「ギャングよ 向うは晴れているか」で注目される。 『ヘヴンズストーリー』（2010）ベルリン国際映画祭の批評家連盟賞とNETPAC（最優秀アジア映画）賞受賞。 『アントキノイノチ』（2011）モントリオール世界映画祭ワールド・コンペティション部門のイノベーションアワード。 『64 ロクヨン』2部作（2016）前編 日本アカデミー賞優秀監督賞受賞。
鈴木 卓爾 氏	映画監督、俳優、京都造形芸術大学映画学科准教授。『私は猫ストーカー』（2009）長編劇場映画初監督。同作 第31回ヨコハマ映画祭新人監督賞、第19回日本プロフェッショナル大賞作品賞、新人監督賞受賞。 『ゲゲゲの女房』（2010）第25回高崎映画祭最優秀監督賞を受賞。『嵐電』（2019）は「北白川派」※で制作された。俳優としても活躍し、『容疑者Xの献身』（08年）、『セトウツミ』（16年）、『あゝ荒野』（17年）など、多数の作品に出演している。 ※「北白川派」とは、京都造形芸術大学と映画学科が丸となり、その全機能を駆使しながら、プロと学生が協働で1年をかけ一本の映画を完成させ、劇場公開を目指すプロジェクト。
大西 礼芳 氏	女優。2009年、京都造形芸術大学映画学科俳優コース1回生在学中に同学科のプロジェクト「北白川派映画芸術運動」の第二弾として製作された映画『MADE IN JAPAN ～こらっ!～』で演技未経験ながらヒロイン・雛子役に抜擢され、松田美由紀とともに主演を務める。大学在学中は同大学映画祭の運営や同映画の配給など俳優領域以外の分野にも携わる。ドラマ『俺のスカート、どこ行った?』（2019）、映画『菊とギロチン』（2018）、『嵐電』（2019）など多数の作品に出演している。出演舞台『民衆の敵』が11月より上演されている。

② 企画部門

- ・カモシネマ 15 招待上映（連携企画）8/17（土）
- ・第17回京都学生祭典（ブース出展）10/13（日）
- ・京都国際映画祭招待上映（連携企画）10/19（土）

- ・ 京都国際学生映画祭イベント in マンガミュージアム 12/14 (土)

③ 国際部門

- ・ 9/21 (土)、9/22 (日)、9/29 (日) 翻訳ボランティア説明会

④ 渉外部門

- ・ 第 22 回協賛依頼訪問実施→7 月上旬から順次実施。新規開拓を目指す。
- ・ 第 22 回協賛金 計 9 社、54 万円 + 物品提供 (3 万 2 千円相当) ※確定

立命館大学大学院 映像研究科	10 万円(確定)	継続
日東薬品工業株式会社	物品提供 (3 万 2 千円相当)	新規
京都府生活協同組合連合会	1 万円 (確定)	継続
株式会社ディレクターズ・ユニブ	10 万円 (確定)	継続
株式会社おいかけ	3 万円 (確定)	継続 (昨年無)
(一社) ニッシャ印刷文化振興財団	10 万円 (確定)	継続
株式会社元気な事務所	5 万円 (確定)	継続
株式会社ジェイコムウエスト京都みやびじょん局	5 万円 (確定)	継続
京越株式会社	10 万円 (確定)	継続
株式会社ヤマコー	物品提供 (3 万相当)	継続

⑤ 広報部門

- ・ コンペ作品および新規実行員募集の案内・広報開始
- ・ Twitter、Facebook、ブログにてコンペティション作品募集、新規実行委員募集の案内
- ・ 第 22 回京都国際学生映画祭プレスリリース配信 (5 月 9 日)
- ・ 第 22 回京都国際学生映画祭 本祭会場および日程の案内開始 (10 月 13 日)
- ・ 京都国際学生映画祭イベント in マンガミュージアムプレスリリース配信 (11 月 22 日)
- ・ 第 22 回京都国際学生映画祭プレスリリース配信 (1 月 28 日)

⑥ 制作部門

- ・ 京都国際学生映画祭公式 web サイト リニューアル
4/26 (金) テストアップ→5/3 (金) 本番リリース
- ・ 第 22 回京都国際学生映画祭コンペティション募集チラシ・ポスター
4/25 (木) 納品
- ・ 第 17 回京都学生祭典ブース出展時に配布するチラシ (本祭会場および日程が記載されたもの)
- ・ 京都国際学生映画祭イベント in マンガミュージアムチラシ 11/26 (火) 納品
- ・ 第 22 回京都国際学生映画祭チラシ・ポスター・チケット (1 月納品)
- ・ 第 22 回京都国際学生映画公式カタログ (2 月納品)
- ・ トレーラー 公式 HP アップロード済み。

- ・ 作品募集結果 (12 月 25 日確定) ※ [] はアニメーション作品数

	国内	海外	総数
--	----	----	----

2019年度（第22回）受付作品数	101 [12]	176 [45] (29ヶ国)	277
2018年度（第21回）受付作品数	98 [23]	490 [115] (33ヶ国)	588
2017年度（第20回）受付作品数	129 [32]	356 [84] (38ヶ国)	485
2016年度（第19回）受付作品数	167 [70]	372 [116] (41ヶ国)	539 [186]
2015年度（第18回）受付作品数	123 [31]	94 [27] (17ヶ国)	217 [58]
2014年度（第17回）受付作品数	163	187 (26か国)	350
2013年度（第16回）受付作品数	212	145 (19か国)	357

⑦ その他

- ・平成31年度 芸術文化振興基金助成金 交付要望書 11月17日（土）に申請済み。
- ・平成31年度 芸術文化振興基金助成金 交付内定通知書 助成金額1,012千円
- ・平成31年度 芸術文化振興基金助成金 交付申請書 送付済み。
- ・令和2年度 芸術文化振興基金助成金 交付要望書 11月15日（金）申請済み

（3）障がい学生支援事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（「障害者差別解消法」）が平成28年4月から施行されることに伴い、各大学は障がい学生支援業務に携わる担当者の能力向上や大学の枠を超えた情報共有や連携の場が求められることとなった。これらのニーズに対応するため、京都を中心とした関西にある大学の障がい支援業務に携わる担当者による「関西障がい学生支援担当者懇談会」を開催し、今後の対応について意見交換を行う。

また、学生へは、聴覚障がい学生の授業における情報保障となるノートテイクについての理解やスキル向上を図るため、ノートテイク養成講座・パソコン（PC）テイク養成講座を開講する。

さらに、2016年度財団指定調査課題で調査研究「大学での障害者差別解消へ向けたアクセシビリティと合理的配慮のDBの構築 ～障害学生支援室連携組織の設立へ向けて～」の研究成果・提言をどのような形態で財団事業に取り入れるかの検討を行う。

<実績>

◆第23回関西障がい学生支援担当者懇談会

《開催日時》2019年9月12日（木）13時00分～16時50分（情報交換会 17:00～18:30）

《会場》キャンパスプラザ京都（5階第1講義室、第1～5演習室）

《企画内容》①話題提供：「HEAP 相談事業からみる合理的配慮の基礎的理解」（講師：村田淳氏 京都大学 学生総合支援センター／高等教育アクセシビリティプラットフォーム）

②分科会：「視覚障がい」「コーディネーター」「重度障がいのある学生の生活支援」「合理的配慮を考える」「障がい学生支援とキャリアサポート」の5グループに分かれてそれぞれの大学が抱える諸課題や事例紹介などを踏まえて意見交換を行った。

《参加者数》63名（財団加盟校38名、非加盟校25名）

◆大学における障がい学生支援に関する高校教員との懇談会

《開催日時》2019年12月5日（木）14時30分～17時00分

《会場》キャンパスプラザ京都2階 第2会議室

《企画内容》①話題提供：『特別支援教育の視点から考える高大連携』

（講師：京都ノートルダム女子大学 現代人間学部こども教育学科 准教授）

②グループ別懇談会：懇談はファシリテーターに進行をしていただき、基本的に申込時点で高校側から出されていた質問に大学側が回答していくという流れで実施した。ファシリテーターから各大学の取り組み状況を紹介してもらいながら、それに対して高校側の参加者からは現場で困っていることなどを大学側へ共有いただいた。

《参加者数》28名

加盟大学・短期大学部 16名(9大学)

京都府立高等学校・京都市立高等学校教員 12名(11校(特別支援3校含む)、1支援機関)

【実施スケジュール（主要事項）】

6月5日（水）	関西障がい学生支援担当者懇談会幹事会（第1回）
7月9日（火）	障がい学生支援事業企画検討委員会（第1回）
9月12日（木）	第23回関西障がい学生支援担当者懇談会（KSSK）
11月6日（水）	関西障がい学生支援担当者懇談会幹事会（第2回）
12月5日（木）	大学における障がい学生支援に関する懇談会
12月11日（水）	障がい学生支援事業企画検討委員会（第2回）
2月28日（金）	《開催中止》第24回関西障がい学生支援担当者懇談会（KSSK）
3月6日（金）	《開催中止》ノート・パソコン（PC）テイカー養成講座 in 京都精華大学
3月13日（金）	《開催延期》テーマ別研修会

【特記事項】

① 第24回関西障がい学生支援担当者懇談会幹事会（KSSK）

63名より参加申し込みがあったが、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、開催を中止することに決定した。

② ノート・パソコン（PC）テイカー養成講座 in 京都精華大学

18名から参加申し込みがあったが、共催団体である京都市福祉ボランティアセンターと協議の結果、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、開催を中止することに決定した。

③ テーマ別研修会：「災害時における多角的な障がい者支援～まずはできることから～」

13名より参加申し込みがあったが、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、開催を延期した。

各種委員会等の開催について

(1) 京都学生祭典事業

① 京都学生祭典組織委員会

- 3月15日(金) 主要議題：第16回決算報告、第17回事業方針、事業企画、当初予算ほか
9月17日(火) 主要議題：第17回本祭、通年事業報告、プレイベント報告、補正予算ほか
11月28日(木) 主要議題：第17回本祭実施報告、事業報告、第18回実行委員会発足ほか
3月13日(金) 主要議題：第17回決算報告、第18回事業方針、事業企画、当初予算ほか

※ 3月13日(金)の組織委員会は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、参加可能な実行委員はweb会議システムを通して出席。

② 京都学生祭典企画検討委員会

- 5月15日(水) 主要議題：本祭企画、プレイベント企画、広報活動、営業活動等報告ほか
7月10日(水) 主要議題：本祭企画、プレイベント企画、事業進捗ほか
9月10日(火) 主要議題：本祭企画、プレイベント開催報告、補正予算ほか
11月20日(水) 主要議題：本祭企画開催報告、年間事業報告、決算見込み、第18回発足ほか
1月14日(火) 主要議題：第18回テーマ、第18回プレイベント、広報方針、新歓企画ほか
3月11日(水) 主要議題：第18回本祭企画、第18回プレイベント、年間事業報告ほか

※ 3月11日(水)の企画検討委員会は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、キャンパスプラザ京都での開催を中止とし、メールでの書面会議とした。

③ 京都学生祭典事務局会議

- 2月13日(水) 主要議題：第17回コンセプト、第17回プレイベント、各部署実施計画ほか
4月17日(水) 主要議題：第17回本祭企画、第17回プレイベント、年間実施企画ほか
6月19日(水) 主要議題：第17回本祭企画、第17回プレイベント、補正予算ほか
8月21日(水) 主要議題：第17回本祭企画、第17回プレイベント、年間事業実施報告ほか
10月30日(水) 主要議題：第17回事業報告(簡易)、決算見込み、第18時以降開催発足ほか
12月18日(水) 主要議題：第18回コンセプト、第18回プレイベント、広報方針ほか
2月13日(木) 主要議題：第17事業報告(正式)、第18回当初予算、各部署実施計画ほか

(2) 京都国際学生映画祭事業

① 京都国際学生映画祭企画検討委員会

- 7月5日(金) 第1回(主要議題：本祭・授賞式会場、企画検討委員会委員長任命、コンペ応募状況、コンペ体制、一次審査状況、企画案提出 他)
11月29日(金) 第2回(主要課題：二次審査状況、最終審査員報告、企画案提出 他)
2020年1月 第3回(主要課題：入選作品報告、本祭プログラム枠、広報協力依頼 他)
2020年3月 第4回(主要課題：第22回開催報告、第23回委員会発足、第23回コンペ募集 他)

(3) 障がい学生支援事業

① 障がい学生支援事業企画検討委員会

7月9日(火) 第1回(主要議題:委員長選出、2019年度障がい学生支援事業、KSSK開催)

12月11日(水) 第2回(主要議題:2020年度障がい学生支援事業、テーマ別研修、KSSK開催)

② 関西障がい学生支援担当者懇談会(KSSK)幹事会

6月5日(水) 第23回 KSSKの開催について

11月6日(水) 第24回 KSSKの開催について

(1) 国際連携事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

「第5ステージプラン」では、大きな柱の一つとして「オール京都での国際交流推進」を掲げ、大学コンソーシアム京都が取り組む国際連携事業について

- ① 留学生誘致・支援事業
- ② 学生の海外留学・交流促進事業
- ③ 教職員のグローバル化支援事業

を主な推進施策とするとともに、関連した数値目標・活動指標を設定した。

①留学生誘致・支援事業

2015年度から、大学コンソーシアム京都が事務局となり、加盟大学、日本語学校・専修学校等の教育機関、企業、関係業界団体、関係公的機関など産官学のオール京都による留学生誘致・支援組織「留学生スタディ京都ネットワーク」を設立し、留学生の受入体制の強化、留学生・日本人相互交流の促進を図ってきた。第5ステージプランにおいては、「留学先としての京都」の認知度・ブランド力の更なる向上に向け、観光と連携した「学びのまち」の情報発信など、より効率的・効果的な留学生誘致プロモーション活動等に取り組んでいく。

また、文部科学省受託事業である留学生就職支援・交流コミュニティ「KyoTomorrow Academy」を実施し、京都地域の留学生の就職・日本語学習・交流の支援に取り組んできた。

第5ステージプランにおいては、日本語学習支援をさらに充実させるとともに、留学生に「京都を学び、地元産業を理解し、地元企業を志向する。」プロセスを提供するなど、留学生の就職支援や地元企業の国際化を支援していく。(詳細については(2)～(4)を参照)

②学生の海外留学・交流促進事業

2019年度も単位互換を利用した豪州メルボルン(龍谷大学主催)への海外派遣プログラムを引き続き行うとともに、IELTS、TOEFLをはじめとする語学習得支援や「英語で京都をプレゼンテーション」研修を実施し、加盟校学生の留学促進や将来の京都において国際人として活動する意識の活性化を目指していく。

また、加盟校において学生向け海外語学研修が行われている一方で、財団に留学プログラムの開発や広報を期待する意見もあることから、例えば、1～2週間程度の期間で安価、安全かつ質の高い英語学習環境を提供できる、近場の東南アジアなどをフィールドとした安近短(安全・近場・短期)のプログラム開発等に向けた検討を行っていく。

このほか、教育旅行等で京都を訪問する海外の学生と京都の日本人学生や実際に京都で学ぶ留学生が交流する場の創出について、新たに検討を行っていく。

③教職員のグローバル化支援事業

継続実施している京都の加盟大学教職員向け英語スキルアップ研修について、内容の充実を図りながら今年度も実施する（計6回実施）とともに、「IELTS pretesting」の対象者を教職員に広げるなど教職員のスキルアップを支援していく。

また、加盟校における教職員の研修方法や留学生対応、海外大学との交流実績等の各校取組事例を共有することを通じた加盟校の国際化に向けた取組支援について、新たに検討を行っていく。

【②③に係る実績（主要事項）】※①については（2）、（3）に記載

<オーストラリア（メルボルン）語学研修プログラム留学 ※単位互換〔龍谷大学国際学部主催〕>

4月23日	説明会プレゼンテーション（21名参加）
9月10日	説明会プレゼンテーション後期募集分（20名参加）
10月9日	語学研修オリエンテーション①（28名参加）※全4回
11月13日	語学研修オリエンテーション②（28名参加）
12月11日	語学研修オリエンテーション③（29名参加）
1月29日	語学研修オリエンテーション④（33名参加）
2月15日	語学研修プログラム 出発（34名参加、3月15日帰国）※1名途中帰国

<英語で京都をプレゼンテーション>

5月25日	①icebreak 日本概論～日本について英語で表現してみよう～ (25名参加)
6月1日	②・京都を英語で表現 ・伝統文化茶道体験（24名参加）
6月8日	③・留学生セッション ・伝統文化華道体験（21名参加）
6月22日	④名勝庭園「無鄰菴」での見学・講義（23名参加）
6月29日	⑤グループ英語プレゼンテーション（24名参加）
7月6日	⑥個人英語プレゼンテーション（22名参加）

※修了者のうち希望者には、京都市から「京都 PR 学生大使」に任命。

※「京都 PR 学生大使」任命式 8月7日（於：京都市役所） 14名参加（全26名任命）

<TOEFL iBT テストスキルアップセミナー>

6月16日	TOEFL iBT テストスキルアップセミナー（31名参加）
-------	--------------------------------

<学生向け IELTS Pretesting 体験会>

8月27日	学生向け IELTS pretesting 体験会（36名参加）
-------	----------------------------------

<教職員スキルアップ+中国語理解研修>

7月20日	① 大学紹介とキャンパスツアー（19名参加）
7月27日	② Active Learning in Practice: Instructing Subjects Using English as

	a Medium of Instruction (6名参加)
8月3日	③ 中国語理解研修 (18名参加)
9月7日	④ Cross-cultural Manners and English Communication in Higher Education (13名参加)
9月21日	⑤ Email 研修 (16名参加)
9月28日	⑥ Everyday Communication (15名参加)

<教職員向け IELTS Pretesting 体験会>

5月24日	教職員向け IELTS pretesting 体験会 (18名参加)
-------	------------------------------------

<加盟校の国際化に向けた取組事例共有セミナー>

12月25日	「大学の国際化ってなんだろう？」(14名参加)
--------	-------------------------

<その他>

(安近短留学開発)

安近短留学 現地調査訪問 (マレーシア) 中止・延期

(2) 留学生スタディ京都ネットワーク事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

2015年度から京都地域における留学生(外国人研究者を含む。以下同じ)の誘致、受入体制の整備や、留学生の知識・経験を地域の国際化や活性化に活かすための仕組みづくりをオール京都で推進し、「大学のまち・学生のまち」としての京都の魅力向上を図るため、加盟大学、日本語学校・専修学校等の教育機関、企業、関係業界団体、関係公的機関等による「留学生スタディ京都ネットワーク」を運営している(2020年3月現在、102団体が加盟)。

2019年度については、「2019年度留学生スタディ京都ネットワーク総会」で承認を得た下記の事業を実施する。

- 1 「留学先・学びのまち」としての認知度の向上(情報発信)
 - 京都留学総合ポータルサイトの運営
 - 留学生PRチームの運営
 - 海外教育旅行向け支援メニューの提供
 - 「留学先としての京都」のブランド力測定手法等の検討
- 2 各大学・日本語学校の誘致活動等の支援
 - 国内外での京都留学フェア等の開催(2019新規・試行)
 - 京都留学ガイド「STUDY KYOTO」の活用
 - 会員向けセミナー・交流会の開催
- 3 留学生受入環境の整備
 - 留学生向け有給インターンシップの実施
 - 留学生のための住宅情報サイトの運営

- 留学生向け就職支援事業の連携促進
- 留学生と地域との交流促進（2019 新規・試行）
- 留学生向け交流支援事業の連携促進（2019 新規・試行）
- 留学生満足度向上ワーキングの運営

【実績（主要事項）】

<留学生向け有給インターンシップ>

5月15、22日、 28日（追加）	ガイダンス （15日：29名参加、22日：38名参加、28日：35名参加）
6月1日	交流会（留学生77名、企業19社参加）
7月6日、10日	事前研修①（6日：14名、10日：12名）
7月13日、17日	事前研修②（13日：15名、17日：10名）
8月上旬～9月下旬	インターンシップ就業（修了人数 17社 27名）
11月2日	事後研修（14名参加）
11月23日	成果報告会・交流会（留学生20名、企業5社8名、大学等8名参加）

<就業支援事業連携促進>

4月17日	大学・学校向け留学生対象就業支援事業説明会（20名参加）
12月6日	第1回就業支援担当者会議
3月5日	第2回就業支援担当者会議

<教育旅行支援>

4月17日	教育旅行支援 香港8高校の教師への京都留学説明・大学交流会 （香港17名参加、京都の大学・日本語学校 計5校10名参加）
7月9日	教育旅行支援 厦門大学（中国）模擬講義・京都留学説明 （厦門大学41名参加、マリア・ヨトヴァ先生〔日本食・食育〕模擬講義）
7月23日	教育旅行支援 インド・アッサム州大学教員団 京都留学説明・留学生経験談・京都先端科学大学大学紹介（30名参加）
〃	西安交通大学附属高校 京都留学説明・留学生体験談・文化体験（茶道） （6名参加）
〃	京都留学フェア（香港'18）特典 京都体験ツアー（3名参加）
10月19日	第3回日中私立大学学長シンポジウム（周知協力）
11月12日	英国大学行政職員団体（AUA）への大学コンソーシアム京都・留学生誘致事業等説明（5名参加）
11月29日	日中教育交流会教員団への京都留学説明・留学生経験談（186名参加）
12月5日	山東省教育庁庁長一行への大学コンソーシアム京都・留学生誘致事業等説明 （6名参加）
12月11日	マレーシア高校生向け京都留学説明等（57名参加）

1月10日	山東大学教職員への大学コンソーシアム京都・留学生誘致事業等説明(3名参加)
-------	---------------------------------------

<京都及び首都圏の日本語学校への京都留学説明会等>

6月17、18、19日	首都圏の日本語学校をターゲットとした誘致事業 〔東京の日本語学校における京都進学説明会(6月分)〕 17日：東亜学院日本語学校(36名) 18日：KCP地球市民日本語学校(36名)、JET日本語学校(35名) 19日：千駄ヶ谷日本語学校(71名)、ABK日本語コース(25名) ※参加大学：京都外国語大学、京都大学、京都ノートルダム女子大学、同志社大学、立命館大学、龍谷大学
6月20日	京都の日本語学校(京進ランゲージアカデミー)にて進学説明会(39名)
7月17、18、19日	首都圏の日本語学校をターゲットとした誘致事業 〔東京の日本語学校における京都進学説明会(7月分)〕 17日：ISIランゲージスクール【高田馬場校】(67名)、長沼スクール東京日本語学校(47名) 18日：国書日本語学校(43名) 19日：ISI外語カレッジ【池袋校】(43名)、新宿日本語学校(22名) ※参加大学：京都外国語大学、京都精華大学、京都ノートルダム女子大学、同志社大学、立命館大学、龍谷大学
7月26～28日① 8月2～4日②	東京の日本語学校 留学生対象の「京都の学び体験ツアー」 ①芸術系ツアー(20名参加) 訪問先(大学)：京都精華大学、京都造形芸術大学 ②文系・理系ツアー(19名参加) 訪問先(大学)：同志社大学、立命館大学、龍谷大学 ※選択制：京都外国語大学、京都産業大学、京都女子大学、京都先端科学大学、京都ノートルダム女子大学
12月19～20日	東京の日本語学校 教職員対象の「京都の学び交流ツアー」 (東京日本語学校教職員11名11名) 東亜学院日本語学校、千駄ヶ谷日本語学校、ISIグループ、メロス言語学院、京進ランゲージアカデミーOLJ校、東京ギャラクシー日本語学校、KCP地球市民日本語学校、新宿日本語学校、赤門会日本語学校、JET日本語学校、アジア学生文化協会日本語学校 (京都の大学・専門学校13校) 池坊短期大学、京都大学、京都外国語大学、京都産業大学、京都精華大学、京都造形芸術大学、京都ノートルダム女子大学、同志社大学(グローバル・コミュニケーション学部)、佛教大学、立命館大学、龍谷大学、京都先端科学大学、大和学園

<留学生スタディ京都ネットワーク会員向けセミナー>

4月25日	2019年度「留学生スタディ京都ネットワーク」情報交換会
7月4日	外国人留学生の在留審査手続の申請取次に係る研修会(102名参加)
9月20日	「外国人に伝わる日本人にもわかりやすいやさしい日本語」研修会(16名参加)

<留学生スタディ京都ネットワーク関連会議(総会・運営委員会・各ワーキング)>

4月25日	2019年度「留学生スタディ京都ネットワーク」総会・情報交換会
7月31日	2019年度第1回 留学生誘致プロモーションワーキンググループ
10月2日	2019年度第1回 留学生満足度向上ワーキンググループ

11月15日	2019年度第2回 留学生誘致プロモーションワーキンググループ
12月10日	2019年度第2回 留学生満足度向上ワーキンググループ
1月8日	2019年度第1回 留学生スタディ京都ネットワーク運営委員会
2月20日	2019年度第3回 留学生誘致プロモーションワーキンググループ
3月5日	2019年度第3回 留学生満足度向上ワーキンググループ
3月19日	2019年度第2回 留学生スタディ京都ネットワーク運営委員会

<京都留学説明会等>

9月29日	JASSO フェア (韓国：ソウル) ※「STUDY KYOTO」ブース 62名 +クレアソウル事務所、梨花女子高等学校訪問
10月6日	JASSO フェア (ベトナム：ハノイ) ※「STUDY KYOTO」ブース 190名 +貿易大学、ハノイ教育大学附属教育科学高等学校、国民経済大学 日越大学訪問
11月2～3日	京都留学フェア (香港・マカオ) …中止 日本留学フェア (香港・マカオ) へ「STUDY KYOTO」ブース出展 〔 ※職員派遣なし。オンラインによるプレゼン・問い合わせ対応実施。〕 〔 オンラインブース対応 香港：15名 マカオ：15名 〕
11月5～8日	調査・訪問 (台湾：高雄～台中～台北) 〔 季帆国際實業有限公司 日本留學部、櫻花日語学園、東禾国際外語学校 (留学事業部)、公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所、JPTIP、 J' STUDY、同志社大学台北事務所、銘傳大學應用日語學系訪問+輔仁大 学・中華大学講師講師面談 〕
11月24日	JASSO フェア (インドネシア：ジャカルタ) ※「STUDY KYOTO」ブース 120名 +マダニアスクール、ドゥイワルナ高校、パクアン大学、Jei Consulting Indonesia、ダルマ・プルサダ大学訪問
11月27日～29日	京都留学説明会 (中国：西安) 〔 説明会：西安外国語大学、西安培華学院、西安文理学院、西北大学 その他面談：長安大学、陝西師範大学、西安翻訳学院、現代教育 (予備校) 〕
1月20～22日	京都留学説明会 (タイ：バンコク) 〔 説明会：Horwang school、Tammasat university、The University of the Thai Chamber Commerce、King Mongkut Laskrabang、 Phnyapiwat Institute of Management、Traim Udom suksa school 〕
2月24日～27日	調査・訪問 (ベトナム：フエ・ダナン) 〔 Dong Du 日本語センター、Rakuraku 日本語センター、Kokoro 日本語 センター、Sakura 日本語センター、フエ省訓練教育局・高校管 理室、Quoc Hoc Hue 高校、Hai Ba Trung 高校、フエ大学外国語大 学、フエ科学大学、フエ大学 〕

<留学生と地域の交流促進>

6月25日	「留学生と京都をつなぐ交流会～地域のお祭り・イベントを一緒に盛り上げよう!～」(75名〔申込110名〕) 【参加団体】東九条地域・多文化交流夏祭り(8/17)※4名スタッフ参加 希望の家秋祭り(11/9)※4名スタッフ参加 Kokoka オープンデイ(11/3)※1名スタッフ参加 京の七夕(8/10～12)※5名スタッフ参加 京都学生祭典(10/13)※2名スタッフ参加 北山丸太魅力体験(10/20)※28名体験参加
12月17日	「留学生と京都をつなぐ交流会～地域のお祭り・イベントが分かるChristmas交流会～」(67名〔申込102名〕) ①第1回のイベント参加状況振り返り ②春先までのお祭り・イベント紹介(山城・南丹・中丹・丹後の各種イベント)

<留学生交流事業担当者会議>

10月29日	留学生交流事業担当者会議
--------	--------------

(3) 留学生就職支援・交流コミュニティ運営事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

2015年度から、文部科学省「住環境・就職支援等留学生の受入れ環境充実事業」の採択を受け、大企業志向の強い留学生の就職にかかる選択肢拡大を図るとともに、地元企業の国際化を支援する観点から、留学生に「京都を学び、地元産業を深く理解し、地元企業を志向する」プロセスを提供する就職支援・交流コミュニティ「KyoTomorrow Academy(京トゥモローアカデミー)」を立ち上げ、①留学生の地元への就職を支援し、定着を促進するモデルを構築することにより、留学生が多様な就職機会に出会える環境を整える。

また、留学生の採用に当たっては、多くの企業が留学生に高い日本語能力を求めており、日本語がネックとなって就職活動に困難を感じる留学生が多い実情から、上記の地元企業への就職を志向する仕組みと併せて、②日本語学校との連携により、就職活動に必要な日本語支援を行うプログラム開発に取り組み、留学生の就職活動の円滑化を支援する。

さらに、上記コミュニティ参加者をはじめ、京都で学ぶ現役留学生による「留学生PRチーム」の運営により、③学生の目線に立った海外向け情報発信に取り組むなど、留学生誘致・支援に関する幅広い取組を展開する。

【実績(主要事項)】

<就職支援・交流コミュニティ「KyoTomorrow Academy」の活動>

募集活動・オリエンテーション・コミュニティ登録推進活動・加盟校/企業向け事業説明等

3～5月	加盟校にて事業紹介(京都市ウェルカムパッケージ等)(延べ1,174名)
4月19日	向島学生センター新入生歓迎会にて事業紹介(約200名参加)
4月24日	KTAオリエンテーション(21名参加)
5月11日	KTAウェルカムセッション(22名参加)

10月6日	KTA ウェルカムセッション（19名参加）※秋学期
10月16日	KTA オリエンテーション（12名参加）※秋学期

（その他）

KTA サポートチーム定例ミーティングを開催（月1～2回）

<企業訪問プログラム Company Visit>（全4回）

7月11日	Company Visit①「株式会社ナベル」（8名参加）
8月2日	Company Visit②「株式会社陶葺（とうあん）」（19名参加）
11月16日	Company Visit③「株式会社 NISSHA」（36名参加）
2月25日	Company Visit④「株式会社 サン食品」（23名参加）

<交流イベント>

5月25日	KTA 交流企画「京都を巡ろう！大文字編」（23名参加）
-------	------------------------------

<プレゼンテーション大会>

12月4日	「留学生と企業がつながる KTA5 周年記念セッション」 （留学生 34 名、企業 18 名参加）
-------	--

<留学生対象就職活動セミナー>

7月11日	第2回「留学生セミナー・交流会」（主催：京都市、共催：大学コンソ） （留学生 35 名、企業 6 社参加）
11月28日	外国人人材の就職に関する企業・留学生向けセミナー兼交流会（主催：京都市、共催：大学コンソ）（留学生 30 名、企業 15 社 17 名参加）

<合同就職説明会>

7月3日	留学生向け京都の観光業界・就職面談会 2019（主催：大学コンソ、京都観光協会他、共催：京都府、京都市）（留学生 84 名、企業 16 社参加）
9月25日	外国人留学生と企業との交流会（主催：京都市・京都高度技術研究所他、共催：大学コンソ他）（留学生 46 名、企業 20 社参加）
10月28日	留学生ジョブ博（主催：京都中央信用金庫、京都ジョブパーク、共催：大学コンソ他）（留学生 47 名、企業 25 社参加）

<企業向け採用セミナー・相談会>

8月23日	「外国人留学生の雇用手続き・労務管理セミナー」（主催：京都市、後援：大学コンソ） （27 社、36 名参加）
9月27日	「高度外国人材活用セミナー」（主催：ジェトロ京都、後援：大学コンソ） （35 名参加）
11月28日 （再掲）	外国人人材の就職に関する企業・留学生向けセミナー兼交流会（主催：京都市、共催：大学コンソ）（留学生 30 名、企業 15 社 17 名参加）

<就活チーム Career Café Compass> (毎月第3週目の火曜日開催)

4月16日 (春学期)	就活勉強会 Career Café Compass (7名参加)
5月14日	就活勉強会 Career Café Compass (5名参加)
6月11日	就活勉強会 Career Café Compass (11名参加)
7月16日	就活勉強会 Career Café Compass (5名参加)
9月17日 (秋学期)	就活勉強会 Career Café Compass (6名参加)
10月15日	就活勉強会 Career Café Compass (9名参加)
11月9日	就活勉強会 Career Café Compass (13名参加) ※特別会「就職のためのビジネス日本語」とコラボ
11月12日	就活勉強会 Career Café Compass (5名参加)
12月7日	就活勉強会 Career Café Compass (23名参加) ※特別会「就職のためのビジネス日本語」とコラボ
12月10日	就活勉強会 Career Café Compass (3名参加)
1月14日	就活勉強会 Career Café Compass (5名参加)

<日本語学習グループ BN2>

5月11日	BN2 ウェルカムセッション (22名参加)
5月21日	日本語勉強会 BN2 (18名参加)
6月8日	日本語勉強会 BN2 (16名参加)
6月18日	日本語勉強会 BN2 (11名参加)
7月13日	日本語勉強会 BN2 (11名参加)
7月23日	日本語勉強会 BN2 (8名参加)
10月8日※秋学期	日本語勉強会 BN2 (7名参加)
10月19日	BN2 秋学期交流企画 収穫体験と文化体験 (29名参加)
11月5日	日本語勉強会 BN2 (11名参加)
11月22日	日本語勉強会 BN2 (17名参加)
12月3日	日本語勉強会 BN2 (15名参加)
12月20日	日本語勉強会 BN2 (10名参加)
1月17日	日本語勉強会 BN2 (17名参加)

(その他)

BN2 サポートチーム定例ミーティングを開催 (月1~2回)

<就職のためのビジネス日本語講座> (全8回)

5月15日	就活のためのビジネス日本語講座① (16名参加)
5月29日	就活のためのビジネス日本語講座② (13名参加)
6月15日	就活のためのビジネス日本語講座③ (9名参加)
6月29日	就活のためのビジネス日本語講座④ (2名参加)
11月9日	就活のためのビジネス日本語講座⑤ (13名参加)

(再掲)	※特別会「就活チーム Career Café Compass」とコラボ
11月20日	就活のためのビジネス日本語講座⑥(2名参加)
12月7日	就活のためのビジネス日本語講座⑦(23名参加)
(再掲)	※特別会「就活チーム Career Café Copass」とコラボ
12月11日	就活のためのビジネス日本語講座⑧(6名参加)

(4) 留学生支援事業(京都地域留学生住宅支援制度)

【事業計画の概要および実績】

<概要>

「京都地域留学生住宅支援制度」については、当財団が「京都地域留学生住宅支援機構(以下、「支援機構」という)」の事務局を担い、委員会開催、会員証発行、包括契約書締結、機関保証事務、事故対応等の業務(通年)を行ってきた。しかしながら近年各学校において、賃貸保証会社を利用する動きが盛んになり、本事業が極めて限られた学校でのみ利用されている状態になっていた。こうした動きを踏まえ、2017年度に本事業利用大学等によるワーキングを設置し、本事業の将来的な廃止も視野に入れた検討を行い、2018年4月の委員会において、2018年度末での新規入会停止及び現在会員の留学生は2019年度以降も会員資格を継続すること等を確認した。

各種委員会等の開催について

(1) 国際連携事業

① 国際事業部運営委員会

- 1月9日 第一回会議
- 3月19日 第二回会議

(2) 留学生スタディ京都ネットワーク事業

① 留学生スタディ京都ネットワーク運営委員会

- 1月8日 第一回会議
- 3月19日 第二回会議

② 留学生誘致プロモーションワーキンググループ

- 7月31日 第一回会議
- 11月15日 第二回会議
- 2月20日 第三回会議

③ 留学生満足度向上ワーキンググループ

- 10月2日 第一回会議
- 12月10日 第二回会議
- 3月5日 第三回会議

(3) 留学生支援事業(京都地域留学生住宅支援制度)

① 京都地域留学生住宅支援制度運営委員会

当面開催予定なし

(1) 調査企画事業

【事業計画の概要および実績】

第5ステージ（2019-2023年）の初年度である2019年度は、大学政策委員会での意見等も踏まえ、中長期的な視点から施策展開するとともに、事業の効果検証と効率的な事業運営を図り、プランに掲げた数値目標についても達成に向けた取組を推進する。

広報事業においては、加盟校のプロモーションに資する取組として、京都学生広報部の活動の定着化とより一層の活性化を図る。専用サイト「コトカレ」における京都のPR記事の配信を積極的に行い、活動の指標となるコトカレPV数（閲覧件数）の年間100万PVの達成に向け取り組む。また、学生広報部員と中高生・企業等とのタイアップ事業の実施など、情報波及力を高める事業にも積極的に取り組む。

都市政策事業、地域連携事業については、事業開始から15年以上が経過し、一定、加盟校への事業の浸透と取組の定着化が図られてきた。第5ステージでは、これまでの取組実績やノウハウをより一層広めるため、2019年4月に開設した大学・地域連携ポータルサイト「がくまちステーション」などを活用し、取組の活性化と裾野の拡大に取り組む。

1 財団指定調査課題

調査事業企画検討委員会において、2019年度の指定調査課題の進行管理と2020年度の募集に向けたテーマ設定等の検討を行い、第5ステージプランに掲げた施策を推進する。

(1) 2019年度

ア 採択件数（2件）

①【研究テーマ】

京都におけるリカレント教育推進に果たす大学コンソーシアム京都の役割—京都モデルの構築に向けて—

【研究グループ】

代表者：竹安栄子 京都女子大学特命副学長・地域連携研究センター長 他5名

②【研究テーマ】

各種SD研修修了生及び受講生の成長追跡調査と今後の体系的なSD研修のあり方について

【研究グループ】

村山 孝道 京都文教大学 教学企画課長 他4名

イ 調査研究費について

300万円（1件：150万円（上限額））

ウ スケジュール

2019年4月	研究スタート
10～11月	中間報告会（於：キャンパスプラザ京都）
2020年3月3日	成果報告会・交流会（於：キャンパスプラザ京都）

(2) 2020 年度の募集概要

ア 募集テーマ (2 件)

- ① 京都の大学における国際化の現状を踏まえた京都地域の留学生誘致活動の底上げに関する方策
(担当：国際事業部)

【研究グループ】

立命館大学 経済学部事務室課員 橋本 規孝 他

- ② データ解析から紐解く大学コンソーシアム京都加盟校が京都地域で果たしている役割の現状と今後の方向性 (担当：総務部、調査広報事業部)

【研究グループ】

京都産業大学 現代社会学部教授 金光 淳

イ 調査研究費について

300 万円 (1 件：150 万円 (上限額))

ウ スケジュール

2019 年 12 月 12 日 ～2020 年 1 月 31 日	研究者の募集
2020 年 2 月上旬	書類審査
2 月中旬	書類審査 結果連絡
3 月 3 日	プレゼンテーション審査 (於：キャンパスプラザ京都)
3 月中旬	採択連絡 (予算承認までは仮決定)
4 月以降	調査研究開始 (受託研究契約締結後)
10 月または 11 月	中間報告会 (於：キャンパスプラザ京都)
2021 年 3 月上旬	成果報告会・交流会 (於：キャンパスプラザ京都)
2021 年 3 月末	調査研究成果報告書提出

2 「共通指標」に基づく財団基礎データの収集

2016 年度から全事業 (協働事業を除く) で「共通指標」に基づく量的、質的データの収集を開始。
2016 年度から 2018 年度の 3 年間のデータを集約し、加盟校への公開に向け検討を行う。

年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
データ提供事業数	44	38	40

3 中期計画の策定と運用

(1) 第 5 ステージプラン (計画期間：2019-2023 年度)

財団では 5 年ごとに、財団の目指すべき方向性や事業のあり方についてまとめた「ステージプラン」を策定し、事業運営の指針としている。「第 4 ステージプラン (2014～2018 年度)」の 4 年目にあたる 2017 年度に大学政策委員会 (委員長：松岡 同志社大学学長) を設置。同プランの検証を行い、最終年度の 2018 年度に、次期ステージプラン策定部会を設置し、具体的な検討を行った。大学政策委員会において、2019 年度以降に財団が取り組むべき事業方針等を取りまとめ、2019 年 1 月 26 日開催の理事会に「第 5 ステージプラン」を答申。2019 年 3 月に策定した。

ア 第5ステージプランの概要

計画期間	2019-2023 年度 (5 年間)
ビジョン	だれもが学び、つながる京都へ ～地域とともに個性と特色を活かした多様な学びの展開～
事業推進方針	① 加盟校ニーズ・期待に応える事業運営 ② 大学と地域との連携推進 ③ 交流・プラットフォーム機能の強化 ④ 「大学のまち京都」のブランド力向上 ⑤ 高等教育を取り巻く環境の変化に対応する、先進的で独自性のある事業展開
施策の柱と 主な新規事業	柱1 大学間連携による学びの提供と充実 ・加盟校等におけるリカレント教育の実践促進 ・学生の成長と企業・団体の活性化に資するインターンシッププログラムの促進 柱2 大学教職員の能力開発と交流機会の充実 ・階層別研修・プログラムの実施 (SD・FD 事業) ・高校教員対象の障害のある学生の受け入れに関する懇談会の開催 柱3 大学の枠を超えた学生間の交流・活動支援 ・インカレ活動の活性化に向けた取組 柱4 オール京都での国際交流推進 ・留学生や海外からの訪問学生との交流プログラムの実施 ・加盟校の国際化に向けた取組事例の共有 柱5 大学・学生・地域社会との連携による京都地域の発展と活性化 ・大学地域連携ウェブサイトの開設 ・京都から発信する政策研究交流大会の政策提言の活用 柱6 高等教育の環境変化に対応する組織運営 ・高等教育の動向調査 ・財団事業の影響分析

イ 第5ステージプラン (2019-2023) 事業進捗報告会

令和元年度「私立大学等改革総合支援事業」タイプ3 (プラットフォーム型) の共通設問における「中長期計画の進捗状況、評価に係る公表と、プラットフォーム内外への説明会、報告会の実施」について、2019 年度中に実施する旨を回答していることに伴い開催。

日時： 2020 年 2 月 12 日 (水) 19:00～19:45

対象： 加盟校・団体、市民

内容： 第5ステージプランの進捗状況並びに数値目標の達成状況について

(2) 「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」について

京都市の大学政策の指針となる、「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」を京都市と財団が協働し策定している。2017 年度から、大学のまち京都・学生のまち京都推進会議 (通称：推進会議) において、2019 年度から 2023 年度までの推進計画の具体的な検討を行い、2019 年 3 月に策定

した。

運用に当たっては、当財団の次期中期計画とも密接に連携しながら取組を推進する。

ア 2019年度の実施状況

第1回会議（2020年3月24日開催）

4 京都B&Sプログラム

京都市（観光MICE推進室）、JTBとの協働事業。京都に来る修学旅行生（中高生）を対象に、学生ボランティア（有償）がガイド役となって京都を案内する。その過程で、市内の大学構内へ立ち寄り、将来の進学意欲の喚起や大学生との触れ合いを通じ「大学のまち京都」の魅力を発信する。

（2014年度開始事業）学生ボランティアの確保に課題があり、財団のインカレ団体や広報媒体を通じた、情報発信などにより、登録者の確保に協力している。

【受入実績】

- 2016年度：23校（3,064名）
- 2017年度：30校（3,399名）
- 2018年度：29校（3,848名）
- 2019年度：19校（2,288名）1月時点

（2）広報事業

【事業計画の概要及び実績】

第5ステージでは、情報収集・発信機能の強化を掲げ、加盟校に有益な情報について組織的に対応し、情報の収集・発信を行う。広報事業として、京都学生広報部の活動充実などに取り組み、専用サイト「コトカレ」の年間100万PV達成を目指す。

- ①財団ウェブサイトとSNS (facebook)等による財団事業の発信機能強化
- ②京都学生広報部の専用ウェブサイト「コトカレ」の充実と情報発信力の強化
- ③学生広報部と中高生、企業とのタイアップ事業の展開

1 財団ウェブサイト・SNSの運用

アクセス実績の解析・状況分析を実施し、アクセス数の増加、情報発信力の強化を図る。

2 会報等の発行

(1) 財団 Information（財団紹介パンフレット）

毎年6月に更新、発行（年1回）

(2) 会報誌

- ① 2019年6月22日に会報50号兼財団設立25周年記念号を発行（44ページ）
- ② 2020年1月に会報51号を発行（8ページ）
 - 【特集1】加盟校紹介：明治国際医療大学
 - 【特集2】企業に挑戦する学生たち
 - 【特集3】大学コンソーシアム京都設立25周年記念事業

3 京都学生広報部

「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力を経都の大学生たちが全国の中高生に発信することを目的し、2015年9月に創部し、10月に専用ウェブサイト「コトカレ」を開設した。

2019年度も引き続き京都市及び運営支援を委託する日本ディレクション協会・クリエイター育成協会と協働で学生部員への支援を行う。特に、将来の大学生となる中高生にとって魅力あるコンテンツを制作し、中高生の読者の増加を目指すとともに、中高生との交流事業等にも取り組む。また、全国から多くの修学旅行生が訪れる利点を活かし、京都B&Sプログラムとの連動企画など、幅広い広報展開によってステークホルダーや京都地域全体のPRにつなげる。

(1) 概要

① 開設年度：2015年9月 ※京都市との協働事業

② 部員数：139名（17大学）

大学・短期大学名	部員数	大学・短期大学名	部員数
京都大学（内 大学院生1名）	7	京都橘大学	3
京都工芸繊維大学	3	京都美術工芸大学	4
福知山公立大学	1	同志社大学	55
京都外国語大学	1	同志社女子大学	4
京都産業大学	7	佛教大学	1
京都女子大学	21	立命館大学	24
龍谷大学	2	京都精華大学	3
京都文教大学	1	京都薬科大学	1
京都市立芸術大学	1		

③ 公開記事数及びページビュー数（閲覧数）

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
公開記事数	105件	66件	131件	165件	133件
ページビュー数	75,210	159,969	423,579	678,031	660,468

④ 月間ページビュー数（閲覧数）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2017	16,696	18,224	22,178	17,490	13,658	53,725	35,403	55,754	47,776	39,014	43,177	60,484
2018	66,110	56,409	45,710	43,608	48,846	69,302	53,783	84,633	44,971	42,332	51,277	65,080
2019	47,510	52,300	48,498	48,059	45,628	50,955	47,228	73,084	43,663	55,911	62,493	85,139

(2) 主な事業

① 研修事業

トップクリエイターを講師に迎え、広報部員のスキルアップを目的とした研修を年6回実施。

・研修会1「インタビューについて」

講師：芳麗氏（よしれい、インタビュアー・コラムニスト）

・研修会2「イベント・舞台の構成作家に学ぶ！お笑いの舞台の裏側」

講師：辻村悠介氏（構成作家）

・研修会3「京都学生広報部の目的について」

講師：大久保忠重氏（京都市 大学政策担当）

② 中高生・企業等との協働事業

1) 第25回 ICOM（国際博物館会議）京都大会 2019 公式学生広報インターンシップ

9月2日～7日の間、京都学生広報部員10名が広報インターンシップとして参加し、基調講演やセッションなど、SNSを通じて世界に発信した。

2) 吉本興業とコラボ企画（2019年11月22日開催）

主に大学生をターゲットとし、祇園花月を舞台にイベントを開催。企画段階から学生が参画している。

京都市役所へ市長表敬訪問（9月25日）、ネイビーズアフロによる堀川高校を訪問・イベント告知を実施（10月24日）。

11月22日の来場者数268名。芸人のネタ披露のほか、京都の大学サークルの紹介などもあり、京都の大学の魅力を発信する機会となった。

3) 下京青少年活動センターとコラボ企画（2019年9月26日開催）

中高大の学生が約15名参加し、京都学生広報部のアンケート等を回答した。

4) 京都学生祭典へのブース出展（2019年10月13日）

中高生をターゲットに京都の魅力を発信する。模造紙を活用して京都の魅力が描かれた京都の地図を作成した。

5) しもせいフェスタへのブース出展（2019年12月8日）

中高生の来場者をターゲットに、京都市の地図を作るほか、ウェブサイト「コトカレ」に掲載された企画「わらしべ長者」を実施した。

6) ヒューマンステージインキョウト（2020年1月25日）

ステージに登壇し、京都学生広報部の活動紹介と、「インターネットと人権」をテーマに司会者と部員がトークしたほか、活動紹介のブースを出展。

7) 愛知県豊田市の学生・若者と交流イベント実施（2020年2月15日）

豊田市の高校生、大学生、短期大学生、専門学生で構成される「とよた学生盛りあげ隊」が京都を訪れ、京都学生広報部と、ローカルユースカウンシル京都の三団体の取組を共有し、交流した。

③ 部員募集等

年度当初に研修会と合わせた大規模な部員募集説明会を実施予定。

【実施スケジュール（主要事項）】

4月23日	部員募集説明会（参加者50名）
5月8日	部員募集説明会（参加者59名）
5月23日	新入部員交流企画 嵐電貸切イベント（参加者約60名）
7月3日	研修会①「インタビューについて」講師：芳麗（よしれい）氏 （参加者21名）
10月13日	京都学生祭典出展
11月22日	吉本興業コラボ企画（来場者268名）
12月8日	しもせいフェスタ
12月13日	京都学生広報部アワード
1月25日	ヒューマンステージインキョウト出演・ブース出展
2月15日	愛知県豊田市の学生・若者と交流イベント

4 「大学のまち京都 学生のまち京都」アプリの開発

京都市との協働事業。京都でしか味わえない学生生活を実現するための様々な取組や、学生向けの各種情報を学生に直接かつ確実に届けるとともに、学生のニーズなどを把握し、学生を対象とする取組の改善や新たな事業創設の基盤につなげるためのアプリを開発する。

(1) アプリ開発の目的

- ① 京都でしか味わえない学生生活の実現
- ② 京都の魅力を感じた学生の就職を含めた地域への定着
- ③ 京都での学生生活のブランド化による新たな学生の獲得

(2) 主な機能

- ① 単位互換制度やインターンシップなど京都ならではの学びの情報や、経済団体等が発信する就職活動等につながる情報、その他、学生団体によるイベント情報等をニュース形式で発信する機能
- ② カレンダー形式の学習履歴や学生生活の日々を記録し可視化する日記や手帳機能
- ③ 情報閲覧など、アプリのコンテンツ利用によりポイントが貯まり、貯まったポイントを電子マネーなどに変換できる機能
- ④ 京都の学生間でのコミュニティ・ネットワークを創出するための掲示板機能
- ⑤ キャンパス文化パートナーズ制度や学割等の学生向けサービスを展開している文化施設や店舗情報をマップや一覧で発信する機能

※ アプリの各機能は公募の学生プロジェクトチームが検討

(3) 推進体制

「京都ならではの学び・魅力向上」協議会を設置し、事業の企画・運営、予算の管理等を行う。京都市、大学コンソーシアム京都の2者が事務局を務め、京都経営者協会、(公財)京都高度技術研究所のほか、学生団体からは京都学生広報部、京都学生祭典実行委員会が協議会を構成する。

(4) スケジュール

2019年5月8日	第1回協議会
5月中旬	アプリ開発業者の募集
6月1日～	学生プロジェクトメンバーの募集
6月上旬	開発業者のプロポーザル開始・決定
6月下旬～	定例会議(月1回)
6月末	学生プロジェクトメンバーの決定
7月上旬～	学生プロジェクトメンバー定例会、関係各所との調整
8月28日	学生PT中間報告会
10月13日	第2回協議会
1月28日	第3回協議会
2020年3月26日	アプリ運用開始

(3) 都市政策研究推進事業

【事業計画の概要および実績】

1 京都から発信する政策研究交流大会

加盟校の学生・大学院生が、日頃の研究や学習成果の発表の場として互いに交流を深め、都市政策に活かすことを目的に2005年度から開催し、今年度で15回目を迎える。

大会は、加盟校の政策系学部の教員で構成する「都市政策研究推進委員会」が中心となり、企画・審査のほか、学生実行委員会の活動への助言等を行っている。

(1) 実施スケジュール

4月12日	第1回都市政策研究推進委員会
5月24日	第1回交流大会検討チーム会議
6月18日	募集開始
7月7日	事前説明会
9月20日	第2回都市政策研究推進委員会
10月31日	募集締め切り
11月8日	第2回交流大会検討チーム会議
11月24日	発表者向け事前説明会
11月29日	第3回都市政策研究推進委員会
12月15日	京都から発信する政策研究交流大会(会場:龍谷大学深草キャンパス)
2020年	
2月14日	第4回都市政策研究推進委員会

(2) 学生実行委員会

加盟校の学生により構成。主に平日の夜間（週1回）に活動し、大会広報チラシやSNSによるPR活動、大会当日の学生企画における講演会やワークショップの企画・運営などを担当。

2019年度 学生実行委員（8名）

大学・短期大学名	人数	大学・短期大学名	人数
同志社大学	3	京都美術工芸大学	1
京都産業大学	2	佛教大学	1
京都府立大学	1		

(3) 2019年度（第15回大会）の実績

ア 日程 2019年12月15日（日）10時00分～17時30分

イ 会場 龍谷大学 深草キャンパス 和顔館

ウ 発表者数 （ ）内は応募者数

	口頭発表	パネル発表	合計
学部生	66 (76)	16 (16)	82 (92)
院生	2 (2)	0	2 (2)

(4) 大学別発表件数

大学名	第15回 (2019)		第14回 (2018)		第13回 (2017)		第12回 (2016)	
	口頭	パネル	口頭	パネル	口頭	パネル	口頭	パネル
京都大学	(1)	0	(1)	0	2 (1)	0	3 (3)	0
京都府立大学	8 (1)	1	3 (1)	1	3	1	4	1
福知山公立大学	2	5	1	2	1	0	—	—
京都産業大学	13	3	7	1	13	3	6	6
京都女子大学	0	0	0	0	1	0	0	0
京都橘大学	3	0	3	0	2	1	5	0
京都文教大学	1	0	1	0	2	0	0	1
同志社大学	12	2	10	5	6	4	4	4
佛教大学	9	3	8	2	9	3	11	3
立命館大学	8	2	12 (2)	5	8 (1)	3	22 (5)	3
龍谷大学	11	0	9	1	9	1	10	0
計	68 (2)	16	55 (4)	17	56 (2)	16 (0)	65 (8)	18 (0)

※（ ）内は大学院生の数

(5) 来場者数の推移

	第15回	第14回	第13回	第12回	第11回	第10回	第9回
	507	392	352	423	451	377	362
第8回	第7回	第6回	第5回	第4回	第3回	第2回	第1回
317	410	545	524	420	632	149	238

※発表者、一般聴講者（学生実行委員、職員、審査員は除く。）の合計

(6) 2019年度研究奨励賞受賞者一覧

賞名	部門	発表題目	区分	団体名	所属大学名
京都府知事賞	パネル 発表 (学部 大学院)	入会共有林の権利保全と移住者の受け入れ・包摂の両立について	団体	政策科学部 高村学人ゼミA班	立命館大学
		※2019年度は大学院生の応募者無し	-	-	-
京都市長賞	口頭 発表 (学部 大学院)	主権者教育におけるゲームの有効性と中期的効果	団体	公共政策学部 3回生窪田ゼミ	京都府立大学
		京都市における多文化共生コーディネーターの導入	団体	政策提言ゼミ	京都大学 公共政策大学院
大学コンソーシアム京都 理事長賞	パネル 2位 (学部 大学院)	政策系学部による小学生向け主権者教育プログラム	団体	公共政策学部 2回生窪田ゼミ	京都府立大学
		※2019年度は大学院生の応募者無し	-	-	-
	口頭 2位 (学部 大学院)	中小企業金融評価における新指標の考察	団体	中森ゼミナール	龍谷大学
		政策の説明における動画活用の可能性 －舞鶴市市民レビューへの参加者増加のための提案－	個人	池田 葉月	京都府立大学 大学院
日本公共政策 学会賞	論文 (学部)	ボランティアと協働する祭りの継承 - 京都府南丹市美山町鶴ヶ岡地区の「上げ松」の事例 -	団体	社会学部 大谷ゼミ美山班	佛教大学
	論文 (大学院)	政策の説明における動画活用の可能性 －舞鶴市市民レビューへの参加者増加のための提案－	個人	池田 葉月	京都府立大学 大学院
優秀賞	口頭 発表	持続可能な京都市バスの運行システムの考察	個人	畑中 慧	立命館大学
		茶業を活かした新しい観光の姿	団体	Team-Ochat	京都府立大学
		京都観光をもっと魅力的に	団体	京都しらべ隊	龍谷大学
		京都府における下宿学生の貧困対策	団体	風間ゼミナール 公営住宅班	同志社大学
		若年者の政治参加	団体	深尾ゼミナールD班	龍谷大学
		官民協働の循環型コミュニティ備蓄の推進	団体	風間ゼミナール 循環備蓄班	同志社大学
		クラウドファンディングにおける行動選択の新たな可能性	団体	紅のパニーニ	龍谷大学

賞名	部門	発表題目	区分	団体名	所属大学名
		地域映画制作から見えた能動的学習を交えた郷土教育の可能性	団体	深尾ゼミナールA	龍谷大学
		京都の地域社会における猫問題解決に向けて - StrayCatAdviser 派遣事業の提案 -	団体	風間ゼミナール 地域猫班	同志社大学
	パネル 発表	学生主導の移住情報プラットフォーム 作りに関する調査・研究	団体	地域経営学部 谷口ゼミ 空き店舗チーム	福知山公立大学

(4) 地域連携事業

【事業計画の概要および実績】

本財団では、従来から京都のまちの発展、活性化を目指し、加盟校が有する知と人材、学生の活力を生かした地域との連携事業を京都市と連携し、実施している。

1 大学地域連携創造・支援事業（愛称：学まちコラボ事業）

大学の求める人材育成に資する実践的教育・研究機会の確保と地域ニーズに基づき、大学の知や学生の活力を生かした地域課題の解決や地域活性化を目的とし、大学と地域との連携による取組に対して助成金を交付し、学生の学びと成長を支援している。

2019年度は、引き続き、「文化枠」「一般枠」の公募を行い、大学・学生と地域との協働・連携による文化的な取組の一層の促進を図った。また、大学と地域の連携した取組を更に広げるため、大学への積極的な広報活動を行い、新規の団体の参加促進にも注力する。

(1) スケジュール

4月2日～5月10日	募集期間
5月12日～6月上旬	書類審査
6月上旬	第1次選考会（書類選考）
6月23日	第2次選考会（公開プレゼンテーション審査会）
7月9日	認定式・取組スタート
11月12日	第3回選考委員会
3月29日	第4回選考委員会（事業報告会・交流会）【中止】

(2) 2019年度応募状況

①申請件数：23事業（一般枠：20事業、文化枠：3事業）

（参考）2018年度応募状況

申請件数：31事業（一般枠：27事業、文化枠：4事業）

採択件数：19事業（一般枠：17事業、文化枠：2事業）

②採択団体：14 事業（一般枠：12 事業、文化枠：2 事業）

【文化枠：助成金上限 45 万円】

NO	事業名	団体名【関連大学名】
1	ソイカル from 静原～京都大豆食文化の発信～	みらい発信局おむすび～静原応援隊～ 【京都産業大学】
2	てら*ばるむすの活動を通したお寺の新たな役割の発信	龍岸寺文化事業部 てら*ばるむす 【成安造形大学、京都市立芸術大学、京都橘大学】

【一般枠：助成金上限 30 万円】

NO	事業名	団体名【関連大学名】
1	伏見深草・東高瀬川の環境保護と地蔵盆プロジェクト	龍谷大学・東高瀬川の環境保護と地蔵盆プロジェクトチーム 【龍谷大学短期大学部】
2	KOKA☆オレンジプロジェクト ～高齢者・障がいがある方の「食」を支援しよう！～	KOKA☆オレンジサポーターズ 【京都光華女子大学】
3	京北宇津ふれあい学びあい	京都精華大学 京北宇津宝さがし会 【京都精華大学】
4	カモシネマ 15	カモシネマ 15 実行委員会 【立命館大学】
5	子ども科学教室	わくわく研究室 【佛教大学】
6	Halloween in 西院	Halloween in 西院実行委員会 【京都外国語大学】
7	醍醐中山団地活性化プロジェクト	京都橘大学現代ビジネス学会まちづくり研究会 【京都橘大学】
8	東九条・記憶の地図づくり	京都大学田路研究室 東九条まちづくりチーム 【京都大学】
9	洛西ニュータウンにおけるサークル的自治活動	京都女子大学井上えり子研究室 竹の里・新林班 【京都女子大学】
10	地域密着型竹林整備・竹育プロジェクト～大原野地区と嵐山地区をフィールドとして～	京都府立大学 森林ボランティアサークル森なかま 【京都府立大学】
11	京都文教大学バスツアーズ	京都文教大学 バスツアーズ 【京都文教大学】
12	京北さとまちフェスティバル	さとまちフェスティバル実行委員会 【京都産業大学、龍谷大学】

2 大学×地域連携ポータルサイト「がくまちステーション GAKUMACHI STATION」の開設

財団では、これまでから大学・学生・地域との連携した活動を支援し、学生の学びと成長、地域の活性化を図ることを目的に、サークルや学生グループによるまちづくり活動を支援する「学まちコラボ事業」や大学を挙げた地域連携の取組を支援する「学まち連携大学」促進事業の実施のほか、都市にかかわる課題について学生が調査・研究した成果を政策提案する「京都から発信する政策研究交流大会」の開催や加盟校における地域連携の取組紹介ページ「まちづくり事例集」の作成など、多様な地域連携事業に取り組んできた。2019年4月からは、これら地域連携にかかわる幅広い情報やノウハウを網羅したポータルサイトを開設し、大学・学生と地域との連携活動の活性化を図っている。（ま

ちづくり事例集を本サイトに再編)

(1) 掲載事業

- ① 学まちコラボ事業
2018年度に取り組まれた活動実績を中心に2017年度以前の報告集を掲載
- ② 「学まち連携大学」促進事業
2016年度から取組を進める6大学*の取組を紹介
※大谷大学、京都教育大学、京都女子大学、京都橘大学、同志社女子大学、龍谷大学
- ③ 京都から発信する政策研究交流大会
優秀賞受賞者の発表論文及び発表データ、推進委員（教員）へのインタビュー記事を掲載
- ④ 加盟校における地域連携活動の取組
上記①から③の取組以外の加盟校独自の大学・学生・地域連携の活動を紹介

(2) スペシャルコンテンツ

地域連携活動やまちづくりなどの分野のトップランナーによるインタビューなどを随時更新

(3) 検索機能

京都府下の市町村、大学名、取組分野のキーワードで取組が検索可能

3 「学まち連携大学」促進事業

地域社会との関わりの中で得られる学生の学びと成長の機会を創出する取組を、大学の組織的な取組として定着させることを目的に、地域と連携した実践的な教育プログラムの開発・実施に取り組む6大学に補助金（2019年度までの最大4年間）を交付し、取組を支援している。

2019年度は取組の最終年に当たることから、活動成果を取りまとめるとともに、「大学・地域連携サミット」や報告書の作成を通して、加盟校へ発信。

「学まち連携大学」促進事業 採択大学及び採択事業

大学名	申請事業名
大谷大学	北区・北大路地域を中心とした大学・地域連携事業
京都教育大学	「京都に学ぶ・京都を発信する」をサポートするプチコンテンツ・セルフガイド制作
京都女子大学	「地域系女子養成プログラム（副専攻）」の構築 —地域社会を支える女性リーダーの養成をめざして—
京都橘大学	山科・醍醐地域で「育ちあう・響きあう」地域連携型教育プログラム
同志社女子大学	京町家の中核とした未来の京都まちづくりプログラム
龍谷大学	多世代・多文化協働による地域連携型教育プログラムの展開—学生と地域が共に学びあう「コミュニティベースドラーニング」の実現をめざして—

4 大学・地域連携サミット

学まちコラボ事業や各区のまちづくり支援事業を含めた大学・地域連携事例を広く発信するとともに、大学・地域連携活動に関わる学生や大学関係者、地域団体等が交流する機会を創出するため、「大学・地域連携サミット」を京都市と協働で2016年度から開催。2019年度は12月1日開催し、101名の来場者があった。

【2019年度開催概要】

日時：2019年12月1日（日）10：00～14：00

会場：キャンパスプラザ京都 5階「第1講義室」、2階「ホール」

対象：学生・大学・地域関係者、一般参加者

全体テーマ：『大学・学生×地域』のさらなる“極”へ ～「大学のまち京都・学生のまち京都」
ならではのまちづくり～

① 基調講演（50分）

テーマ：つながりが生み出す若者の学びと地域の元気
～〈自分たちごと〉のまちづくりに向けて～

【講師】 坂倉 杏介（さかくら きょうすけ）氏 東京都市大学 都市生活学部 准教授

② 採択6大学における取組紹介（7分×6大学＝42分）

採択大学によるパワーポイントなどを使った取組発表

③ パネルディスカッション（50分）

・ 狙い

6大学で培われてきた、全学的に地域連携を進めるノウハウ等の共有

・ 内容

6大学の代表者とコーディネーターによるディスカッション

④ ポスターセッション（70分）

採択6大学及び学生における地域連携の取組をポスターセッション形式で紹介。

新たな取組として、採択6大学以外のコンソ加盟大学における地域連携の取組紹介も行うことで、各大学の取組を広く周知するとともに、大学同士の連携が生まれるきっかけづくりとした。

各種委員会等の開催について

（1）調査企画事業

① 調査事業企画検討委員会

11月26日	第1回委員会（指定調査課題中間報告・次年度テーマ決定・共通指標）
12月12日	次年度指定調査課題公募開始
1月31日	次年度指定調査課題 応募締切
2月中下旬	次年度指定調査課題 書類審査
3月3日	第2回委員会（次年度指定調査課題プレゼン審査） 2019年度 指定調査課題成果報告会・交流会
3月13日	次年度指定調査課題 研究者決定・通知

(2) 都市政策研究推進事業

① 都市政策研究推進委員会

4月12日	第1回委員会
5月24日	第1回交流大会検討チーム会議
9月20日	第2回委員会
11月8日	第2回交流大会検討チーム会議
11月29日	第3回委員会
12月15日	京都から発信する政策研究交流大会
2月14日	第4回委員会

(3) 地域連携事業

① 学まちコラボ事業（大学地域連携創造・支援事業）選考委員会

6月上旬	第1回（主要議題：1次選考）
6月23日	第2回（主要議題：2次選考：公開プレゼン審査）
11月12日	第3回（主要議題：次年度の課題整理、採択団体の取組中間報告）
3月29日	第4回（成果報告会、次年度の事業募集等について）【中止】

② 「学まち連携大学」促進事業選定委員会

開催なし

総務部 事業進捗

(1) 総務業務 (法人運営・庶務)

【事業計画の概要および実績】

<概要>

◆法人運営

(1) 機関会議

法人の意思決定を行うため、運営委員会、理事会、評議員会を行い、会員団体への事業報告等の場として会員総会を開催している。(日程、主な議題等については「各種委員会等の開催について」参照)

(2) 大学のまち・京都 サマーミーティング

大学コンソーシアム京都の事業推進や京都市の大学政策の参考とするとともに、京都の大学と京都市の一層の連携を図ることを目的とし、8月に加盟大学学長と京都市長との懇談会を開催する。

<実績>

8月24日(土) 大学のまち・京都サマーミーティング 2019

○出席者 (全21名)

<大学コンソーシアム京都>

評議員会、理事会及び運営委員会を構成する大学の学長(代理の場合は副学長)、専務理事・事務局長

<京都市> 市長、副市長、総合企画局長、大学政策部長

○議題

「多様な学生の受入れにどう向き合うか」

(2) 財務・経理業務

【事業計画の概要および実績】

<概要>

本業務は、財団の予算執行管理及び財産の運用などを担当する。

<実績>

5月31日(金) 2018(平成30)年度決算監査

10月～ 2019年度第1次補正予算編成作業(1月理事会上程予定)

11月～ 2020年度当初予算及び事業計画編成作業(3月理事会上程予定)

1月25日(土) 2019年度第1次補正予算(案)理事会上程

3月14日(土) 2020年度当初予算及び事業計画(案)理事会上程及び評議員会報告

(3) 研修業務

【事業計画の概要および実績】

<概要>

財団職員の力量向上を目指した研究企画の策定・実施を目的とする。2019年度は総務部が主体となり、以下の研修を実施する予定である。また、各事業部の理解、連携を深めるため、事業部業務説明会を実施し、研修体制の充実を図る。

<実績>

4月2日(火)	4月新規出向者・採用者向けオリエンテーション
5月9日(木)	5月新規出向者向けオリエンテーション
5月15日(水)	事業部業務説明会(教育事業部、教育開発事業部、国際事業部)
5月20日(月)	総合防災訓練
6月19日(水)	事業部業務説明会(学生支援事業部、調査・広報事業部、総務部)
8月7日(水)	ハラスメント研修
8月28日(水)～30日(金)	SPODフォーラム2019(愛媛大学)
9月7日(土)～8日(日)	大学行政管理学会・研究集会(実践女子大学)
12月14日(土)	財団冬季研修
3月18日(水)	2019(令和元)年度業務成果報告会(出向満了予定者)

(4) 全国大学コンソーシアム協議会事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

本事業では、全国の大学コンソーシアム組織(大学連合体・大学連携組織)からなる協議会組織「全国大学コンソーシアム協議会」の事務局として、運営委員会・総会の開催、協議会予算の執行管理等を行っている。情報交換・交流の場として「全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」を開催している。

<実績>

○第16回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム(概要)

日時:2019(令和元)年8月31日(土)10:00～19:30、9月1日(日)9:30～11:30

会場:熊本学園大学(熊本県熊本市)

テーマ:(全体テーマ)大学コンソーシアムとともに始まる大学づくり

プログラム:【1日目】基調講演、シンポジウム、ポスターセッション、情報交換会

【2日目】分科会

	内容	参加人数
	プレイベント 「大学コンソーシアムの運営における課題とその解決に向けて ～課題から紐解く大学コンソーシアムのあり方～第2弾(ワークショップ)」 【ファシリテーター】 全国大学コンソーシアム協議会運営委員等	23名

1 日 目	【コーディネーター】 西本 聡子 氏 (大学コンソーシアム大阪)		
	基調講演 「大学コンソーシアムとキャンパスアジアの可能性」 【講演者】 姜 尚中 氏 (熊本県立劇場 館長)	266 名	
	シンポジウム 「大学コンソーシアムとともに始まる大学づくり」 【シンポジスト】 甲斐 隆博 氏 (熊本経済同友会 代表幹事) 小野 泰輔 氏 (熊本県 副知事) 中山 峰男 氏 (崇城大学 理事長・学長) 姜 尚中 氏 (熊本県立劇場 館長) 【コーディネーター】 半藤 英明 氏 (大学コンソーシアム熊本 代表理事・熊本県立大学 学長)		
	文教行政報告 「高等教育政策の動向について」 【報告者】 平野 博紀 氏 (文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室長)		
	ポスターセッション (出展 20 団体：企業 1、全国コンソ協議会加盟組織 19)		—
	情報交換会 (講演者および参加者との情報交換)		約 150 名
2 日 目	第 1 分科会 大学コンソーシアムにおける FD・SD 研修 (担当：一般社団法人 教育ネットワーク中国)	24 名	
	第 2 分科会 障がい学生支援と大学コンソーシアム (担当：公益財団法人 大学コンソーシアム京都)	30 名	
	第 3 分科会 危機管理と大学の地域貢献—震災対応を事例として— (担当：一般社団法人 大学コンソーシアム熊本)	44 名	
	第 4 分科会 人・大学・まちの成長、発展に繋げる大学コンソーシアムの活動とは (担当：特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪)	33 名	
	第 5 分科会 地域活性化人材をどう育成するか (担当：公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩)	27 名	
総参加者数		297 名	

(5) 勤労学生援助会・表彰奨学金事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

本事業では、「勤労学生援助会」の事務局として、理事会等の開催・予算の執行管理等を行っている。「勤労学生援助会」では、人物・学業とも他の学生の模範となる学生で、学費や生活費をアルバイト及び奨学金等に頼り、家庭からの援助が皆無に近い学生や、京都地域の社会活動で著しく貢献した学生を表彰し、奨学金を給付している。

<実績>

- 7月9日（火） 通常総会
- 1月30日（木） 表彰学生選考委員会（主要議題：表彰・奨学金授与学生の選考、他）
- 3月6日（金） 勤労学生表彰・奨学金贈呈式および懇親会 【表彰学生への贈呈のみ実施】

（6）施設管理事業（指定管理）

【事業計画の概要および実績】

<概要>

施設管理事業は、京都市から指定管理者として2019年度から4年間の再指定を受け、キャンパスプラザ京都の管理運営を行うこととなった。引き続き、施設運営に必要な委託業者（受付、警備、清掃、各種インフラ管理等）と連携を図りながら適切な施設管理を行っていく。

<実績>

4月8日（月）	保守点検日	11月11日（月）	保守点検日
4月22日（月）	保守点検日	11月25日（月）	保守点検日
5月13日（月）	保守点検日	12月9日（月）	保守点検日
5月27日（月）	保守点検日	12月16日（月）	保守点検日
6月10日（月）	保守点検日	1月6日（月）	保守点検日
6月24日（月）	保守点検日	1月20日（月）	保守点検日
7月8日（月）	保守点検日	2月3日（月）	保守点検日（全館停電作業日）
7月22日（月）	保守点検日	2月10日（月）	保守点検日
8月5日（月）	保守点検日	2月17日（月）	保守点検日
8月19日（月）	保守点検日	3月9日（月）	保守点検日
9月2日（月）	保守点検日	3月10日（火）	2020年度予約 一斉受付
9月30日（月）	保守点検日	3月16日（月）	保守点検日
10月7日（月）	保守点検日	3月23日（月）	保守点検日
10月21日（月）	保守点検日		

各種委員会等の開催について

（1）総務業務（法人運営）

① 評議員会

- 6月22日（土） 第1回（主要議題：2018（平成30）年度事業報告及び決算について 他）
- 3月14日（土） 第2回（主要議題：2020（令和2）年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 事業計画及び予算について 他）
- 3月27日（金） 第3回（主要議題：理事の辞任・選任について 他）※書面会議

② 理事会

- 4月24日（水） 第1回（主要議題：運営委員の選任について）※書面会議

- 6月6日(木) 第2回(主要議題:2018(平成30)年度事業報告及び決算について 他)※書面会議
- 6月22日(土) 第3回(主要議題:評議員の辞任・選任について 他)
- 1月25日(土) 第4回(主要議題:2019(令和元)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都
補正予算について 他)
- 3月14日(土) 第5回(主要議題:2020(令和2)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都
事業計画及び予算について 他)
- 3月24日 第6回(主要議題:専務理事の選任について 他)※書面会議

③会員総会

- 6月22日(土) 報告事項1 2018(平成30)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都
事業報告及び決算について
※会員総会に引き続き、25周年記念レセプション・懇親会を開催

④運営委員会

- 4月10日(水) 第1回(主要議題:2019年度 第1回理事会(書面開催)の議題について 他)
- 5月15日(水) 第2回(主要議題:2018(平成30)年度事業報告及び決算について 他)
- 6月12日(水) 第3回(主要議題:第3回理事会開催について 他)
- 7月10日(水) 第4回(主要議題:2019(令和元)年度私立大学等改革総合支援事業(タイプ3
「プラットフォーム型」)への申請について 他)
- 9月11日(水) 第5回(主要議題:私立大学等改革総合支援事業(タイプ3)申請スケジュール及び
第5ステージプランにおける数値目標について 他)
- 10月9日(水) 第6回(主要議題:2019年度私立大学等改革総合支援事業(タイプ3)申請につ
いて 他)
- 11月13日(水) 第7回(主要議題:2020年度事業計画策定及び予算編成の基本方針について 他)
- 12月11日(水) 第8回(主要議題:公益財団法人 大学コンソーシアム京都 規則等の改正について)
- 1月15日(水) 第9回(主要議題:2019(令和元)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 補
正予算について 他)
- 2月12日(水) 第10回(主要議題:災害発生時における観光客等に対する施設利用等の協力に関す
る
協定書の見直しについて 他)
- 3月11日(水) 第11回(主要議題:2020(令和2)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都
事業計画・予算について 他)

(2) 全国大学コンソーシアム協議会事業

①全国大学コンソーシアム協議会 運営委員会

- 5月18日(土) 第1回(主要議題:決算・予算・事業計画等)
- 9月1日(日) 第2回(主要議題:第16回 フォーラム結果・第17回進捗)

2月15日（土） 第3回（主要議題：第17回 全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム（大阪）
について 他）

③ 全国大学コンソーシアム協議会 幹事会

6月7日（金） 第1回（主要議題：2018（平成30）年度決算、規約の一部改正等）※書面会議

2月21日（金） 第2回（主要議題：全国大学コンソーシアム協議会 代表幹事の選任について）
※書面会議

（3）勤労学生援助会・表彰奨学金事業

① 勤労学生援助会理事会・選考委員会

7月9日（火） 第1回 理事会・総会（主要議題：事業・決算報告 他）

1月30日（木） 表彰学生選考委員会（主要議題：表彰・奨学金授与学生の選考、他）

3月6日（金） 勤労学生表彰・奨学金贈呈式および懇親会 【表彰学生への贈呈のみ実施】